

# 横須賀市立うわまち病院 の指定管理について



経営母体である  
公益社団法人地域医療振興協会とは

# 公益社団法人 地域医療振興協会

設立等	昭和61年5月15日設立 許可 = 厚生大臣・自治大臣 平成21年12月1日 公益社団法人として登記
会員数	正会員 1,626人 準会員 8人 賛助会員 個人 6人 法人 31団体 (平成29年4月6日現在)
目的	へき地を中心とした地域保健医療の調査研究及び地域医学知識の啓蒙と普及を行うとともに、地域保健医療の確保と質の向上等住民福祉の増進を図り、もって地域の振興に寄与することを目的とする
事業	(1)医学生のへき地医療研修活動の指導 (2)へき地医療における診療活動基準の研究と確立 (3)総合医の確立及び養成 (4)医療情報の提供 (5)地域保健医療に関する研究会及び講習会の開催 (6)へき地等に勤務する医師等の職業紹介及び派遣 (7)関係行政機関との連絡、調整 (8)会報・会誌の発行 (9)へき地等に勤務する医師の確保等へき地等の医療を支援する病院等の開設及び運営管理の受託 (10)前号の病院等と連携し又は同病院等を運営する上で必要とする児童のための社会福祉事業の実施 (11)へき地等の医療を支援する病院等に勤務する看護師等を養成するための学校の運営事業等の養成事業 (12)その他前条の目的を達成するために必要な事業

運営施設  
72

基幹型臨床研修病院 9

地域病院 15

医療介護複合施設 10

診療所(単独) 33

老人保健施設(単独) 5

地域医療  
研究所

地域医療安全推進センター

地域看護研究センター

ヘルスプロモーション  
研究センター

へき地医療支援センター

へき地・離島画像支援  
センター



会長 高久史磨



理事長 吉新通康

# 理事一覽

平成28年6月25日現在

<p>会長</p>  <p>高久 史磨 福岡県出身 昭和6年生 東京大卒 血液内科</p>	<p>理事長</p>  <p>吉新 通康 栃木県出身 昭和27年生 自治医大卒 内科</p>	<p>副理事長</p>  <p>山田 隆司 岐阜県出身 昭和30年生 自治医大卒 内科</p>	<p>副理事長</p>  <p>沼田 裕一 熊本県出身 昭和31年生 自治医大卒 循環器科</p>
<p>常務理事</p>  <p>吉野 淨 神奈川県出身 昭和28年生 自治医大卒 内科</p>	<p>常務理事</p>  <p>小田 和弘 静岡県出身 昭和28年生 自治医大卒 内科</p>	<p>常務理事</p>  <p>白崎 信二 福井県出身 昭和28年生 自治医大卒 外科</p>	<p>常務理事</p>  <p>折茂賢一郎 群馬県出身 昭和33年生 自治医大卒 内科</p>
<p>常務理事</p>  <p>宮崎 国久 長崎県出身 昭和35年生 自治医大卒 外科</p>	<p>理事</p>  <p>細田 瑛一 兵庫県出身 昭和6年生 東京大卒 循環器科</p>	<p>理事</p>  <p>川上 正舒 東京都出身 昭和21年生 東京大卒 内科</p>	<p>理事</p>  <p>簗田 清次 福岡県出身 昭和28年生 東京大学卒 内科</p>
<p>理事</p>  <p>崎原 永作 沖縄県出身 昭和29年生 自治医大卒 内科</p>	<p>理事</p>  <p>神山 潤 長崎県出身 昭和31年生 東京医歯大卒 小児科</p>	<p>理事</p>  <p>塩津 英美 東京都出身 昭和32年生 順天堂大卒 産婦人科</p>	<p>理事</p>  <p>西尾 博至 大阪府出身 昭和39年生 自治医大卒 内科</p>
<p>理事</p>  <p>藤来 靖士 埼玉県出身 昭和40年生 自治医大卒 内科</p>	<p>理事</p>  <p>井上 陽介 大阪府出身 昭和44年生 京大卒 内科</p>	<p>理事</p>  <p>伊瀬知 敦 鹿児島県出身 昭和45年生 自治医大卒 内科</p>	<p>理事</p>  <p>富樫 政夫 昭和22年生 京大卒 事務局長</p>

協会内資料より



# 協会運営施設(複合施設・診療所・老健)



医療介護複合施設	10
診療所(単独)	33
老人保健施設(単独)	5

# 施設運営以外のさまざまな事業



JADECOM-NKP



さいたま看護専門学校

さいたま看護専門学校（平成24年4月開校）  
奈良市立看護専門学校（平成25年4月開校）



フライング・ドクター・サービス



地域医療安全推進センター



シミュレーションセンター  
(BLS,ICLS,PTLS,BLSO,ALSO等)



へき地・離島画像支援センター



公衆衛生に関する  
専門情報サイト

公衆衛生ネット  
(ヘルスプロモーション研究センター)



へき地医療  
情報サイト

へき地ネット  
(ポータルサイト)



沖縄・離島  
医療支援サイト

ゆいまーるプロジェクト  
(沖縄地域医療支援センター)

※この他「地域医療研修ナビ」・「JADECOM Career」の各サイトを運営

# 平成28年度の医師派遣（年間延22,031日）

**前年比 6114日増！**

## 協会外(上位施設)

※協会外施設合計 年間延 2,902 日

東京	神津島診療所	487
茨城	北茨城市民病院	321
岐阜	山岡診療所	246
栃木	日光市立小来川診療所	158
神奈川	三浦市立病院	137
北海道	市立根室病院	134
静岡	伊豆赤十字病院	112
新潟	南魚沼市民病院	93
静岡	伊東市夜間救急医療センター	76
岐阜	坂内診療所	74
長崎	対馬病院	70
福岡	大島診療所	64
福岡	方城診療所	53
福岡	東峰診療所	50
千葉	公立長生病院	49

岐阜	藤橋診療所	46
静岡	下田メディカルセンター	46
福岡	相島診療所	38
和歌山	高野町立高野山総合診療所	26
福島	ばんだい荘	24
長崎	上対馬病院	24
宮城	七ヶ宿診療所	23
長崎	五島中央病院	23
奈良	豊原診療所	22
北海道	町立厚岸病院	20
奈良	大福診療所	17
長崎	上五島病院	17
長崎	島原病院	13
宮城	大崎市民病院鳴子温泉分院	12
山口	萩市国民健康保険須佐診療センター	12

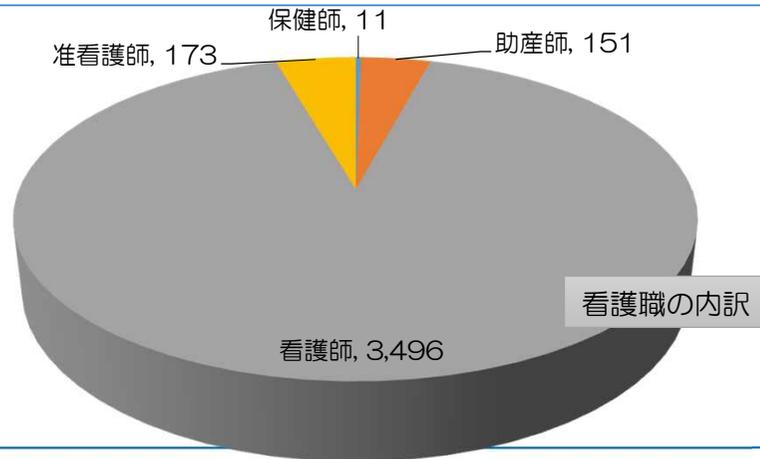
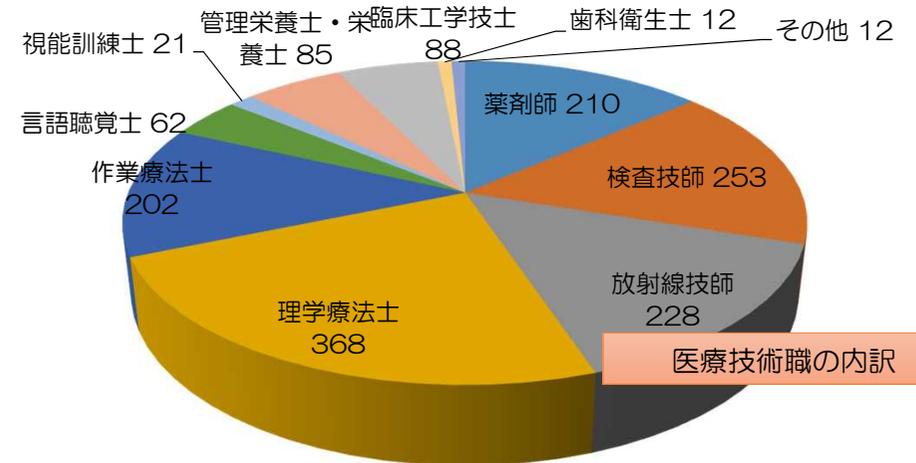
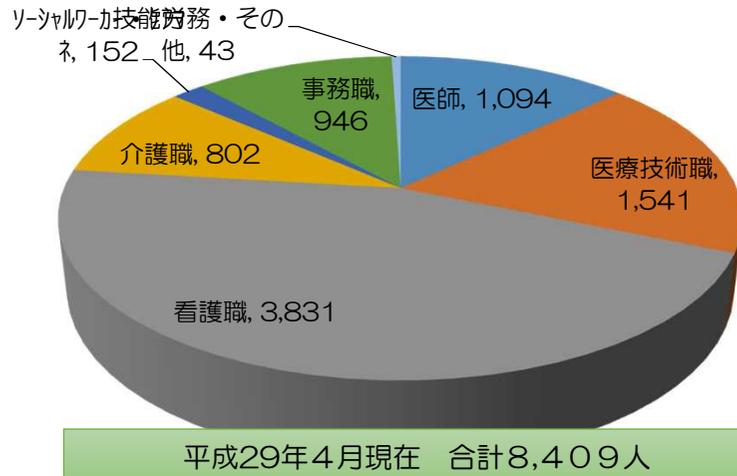
## 協会内(上位施設)

※協会内施設合計 年間延 19,129日

東京	練馬光が丘病院	3198
三重	三重県立志摩病院	1535
静岡	市立伊東市民病院	1220
群馬	西吾妻福祉病院	1117
長崎	市立大村市民病院	845
神奈川	横須賀市立市民病院	674
北海道	十勝いけだ地域医療センター	606
山梨	上野原市立病院	567
茨城	村立東海病院	535
新潟	湯沢町保健医療センター	527

岐阜	市立恵那病院	514
栃木	日光市民病院	506
茨城	石岡第一病院	437
奈良	市立奈良病院	429
宮城	女川町地域医療センター	393
福岡	飯塚市立病院	306
福井	おおい町保健・医療・福祉総合施設	265
青森	六ヶ所村医療センター	220
静岡	伊豆今井浜病院	195
青森	東通地域医療センター	135

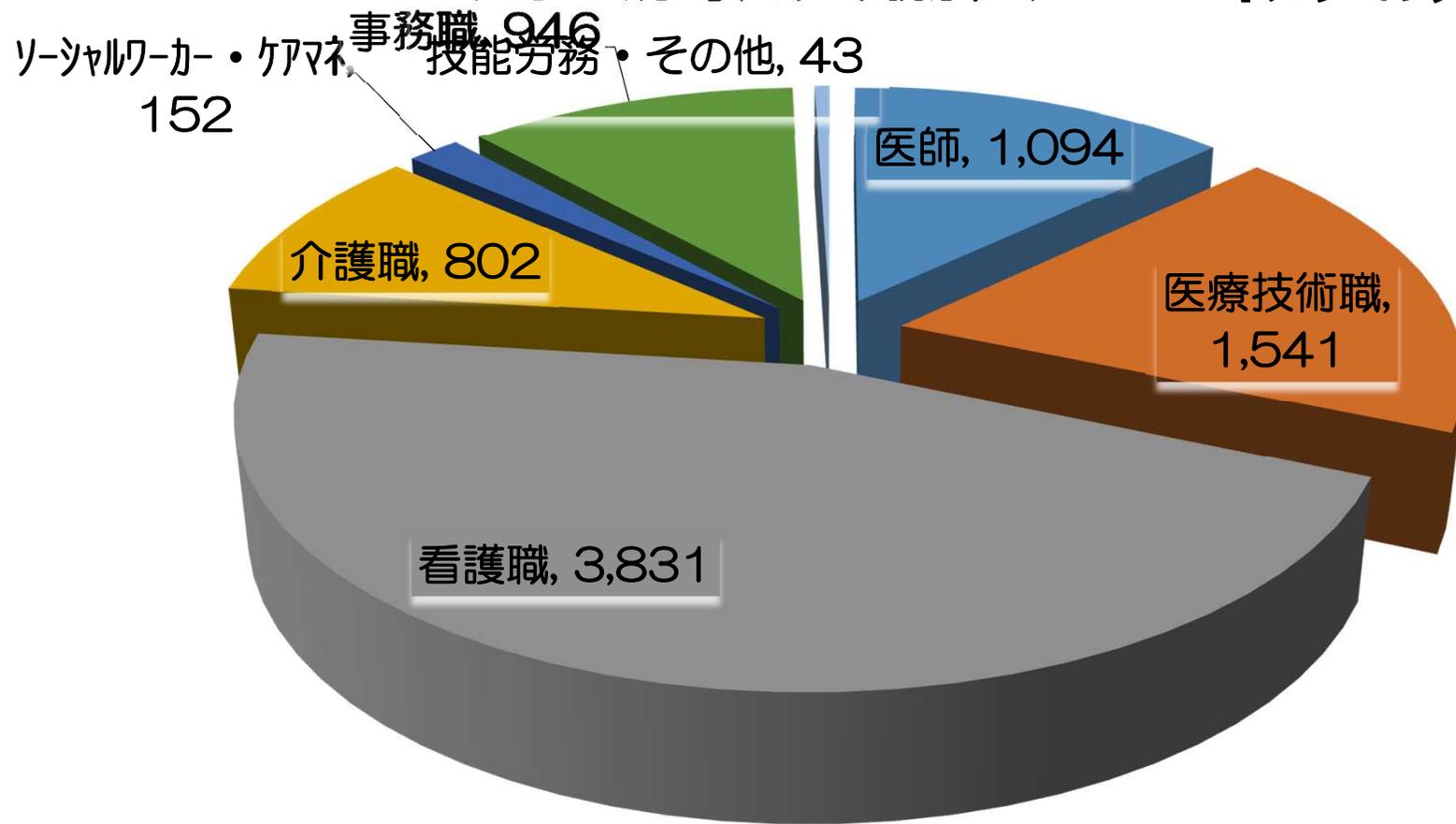
# 地域医療振興協会の正職員数



⇒平成28年4月（7,927人）に比べ、全体で482人の増加

医療人材部資料より

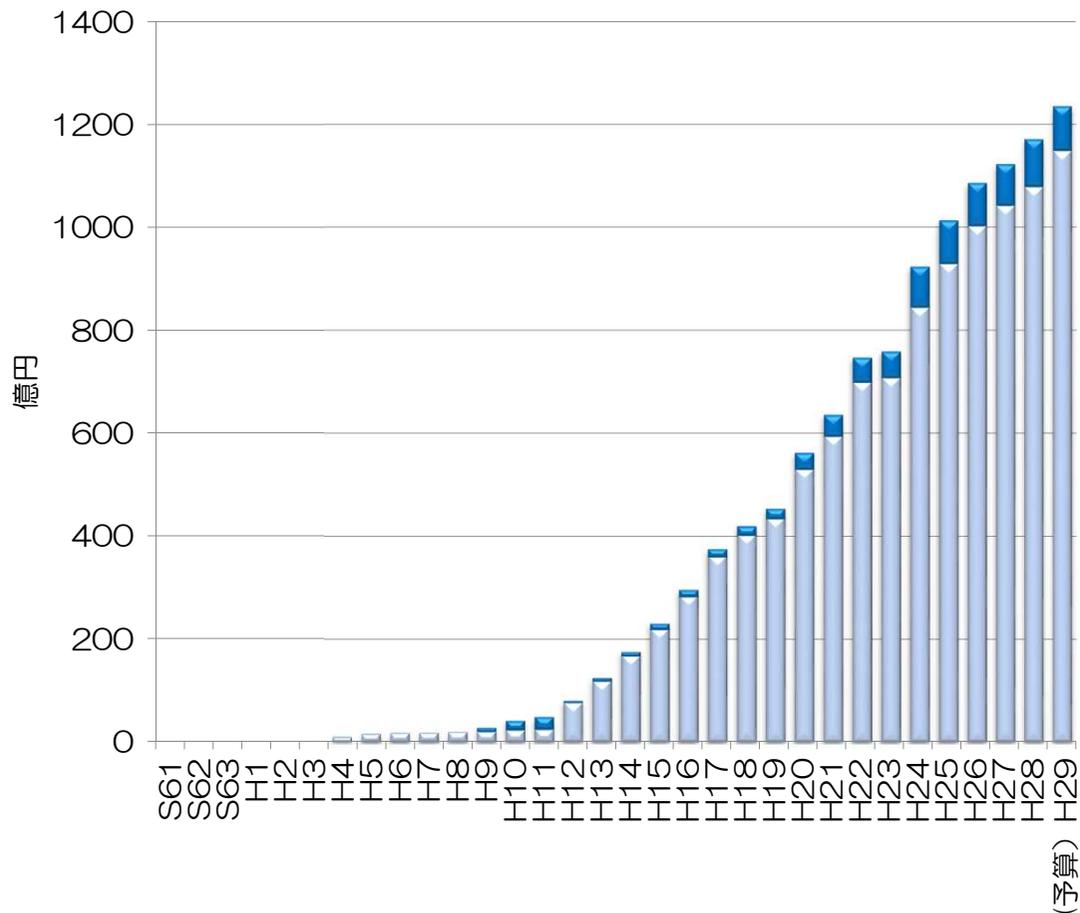
# 地域医療振興協会の正職員数



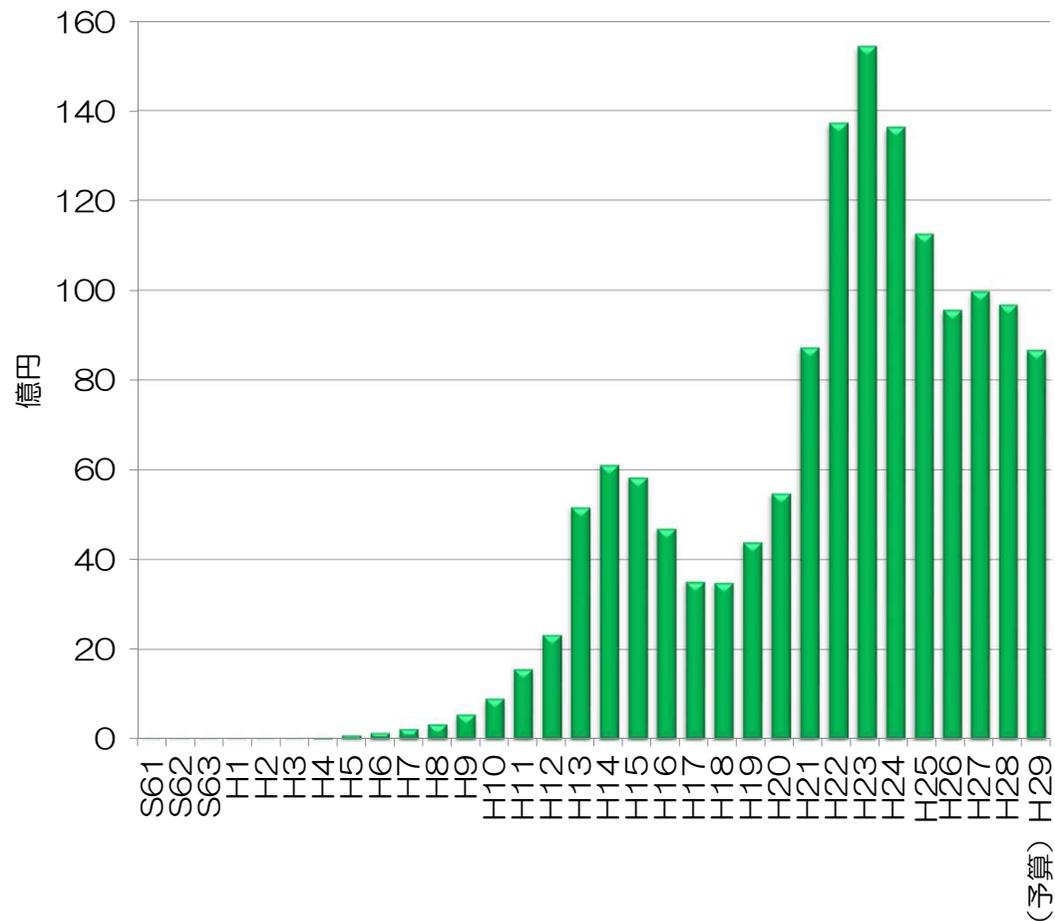
平成29年4月現在 合計8,409人

# 創立以来の財務推移

■ 事業収益 ■ 事業外収益



■ 正味財産



公益社団法人 地域医療振興協会

# うわまち病院の歴史

# 横須賀市立うわまち病院開設までの歴史

- |          |   |
|----------|---|
| 明治24年 3月 | 創設 横須賀衛戍病院  |
| 昭和11年11月 | 名称変更 横須賀陸軍病院  |
| 昭和20年12月 | 厚生省移管・改称 国立横須賀病院<br>外地引揚者の診療業務にあたる  |
| 昭和21年12月 | 一般患者診療開始<br>中里分院に外来診療部門開設、走水分院閉鎖  |
| 昭和40年 3月 | 現在の病棟竣工   |
| 昭和41年 3月 | 外来診療棟竣工（不入斗本院・中里分院を閉鎖）  |
| 平成14年 7月 | 国立横須賀病院閉院 → 横須賀市に経営移譲<br>(職員の引き継ぎ60%以上)<br>横須賀市立うわまち病院が発足<br>(公設民営: 社団法人地域医療振興協会管理受託) |

# 国立横須賀病院の委譲経緯

- 昭和60年3月 国は国立病院、療養所の再編・合理化の基本方針を策定
- 昭和61年1月 横須賀市は国立横須賀病院の存続に関する要望活動(市議会3回、横須賀市1回)
- 昭和62年10月 国立病院等の再編成に伴う特別措置に関する法律制定
- 平成8年11月 国立病院、療養所の再編成・合理化の基本方針を改定
- 平成8年12月 行政改革プログラムを閣議決定
- 平成11年6月 厚生省関東信越地方医務局長から国立横須賀病院の後医療の確保方策について、協力を要請
- 平成12年2月 横須賀市長が、市で国立横須賀病院の委譲を受け運営を社団法人地域医療振興協会に委託する方針を示す。
- 平成12年4月 市健康福祉部に「国立病院移譲準備室」を設置
- 平成12年9月 厚生省、神奈川県、横須賀市、社団法人地域医療振興協会の四者により、委譲問題に関する基本的事項について協議(四者協議)
- 平成13年7月 上記の関係四者が、委譲問題に関する基本的事項について最終確認
- 平成14年7月 7月1日に横須賀市立うわまち病院を開設。診療科目14科、病床数350床(一般病床334床、結核病床16床)病院の管理運営は、社団法人地域医療振興協会に管理委託。

# 横須賀市議会本会議 澤田市長答弁より

平成12年2月23日

- 国立横須賀病院の廃止は地域医療の著しい後退をもたらすばかりでなく、雇用の混乱を招くものであります。そのため、本市が移譲を受けることとし、移譲後の病院の運営については、自治医科大学の協力を得て社団法人地域医療振興協会に委託するという考えでおります。

# 【うわまち病院移譲にあたって】

- (1) 引継ぎ職員を2分の1以上引き受けること
  - (2) (1)を条件に、資産譲渡は無償とすること
  - (3) 平成14年6月30日現在(移譲前日)、国立横須賀病院に入院している患者さんは、患者さんの意向を踏まえ、引き継ぐこと
- 
- つまり地域医療振興協会が国立病院の職員を50%以上継承することで、国立横須賀病院の土地、建物、医療機器などは無償で市の資産になりました。
  - (1)、(2)は、以下の「国立病院等の再編成に伴う特別措置に関する法律(昭和62年法律第106号)第2条の3の規定に基づきます)



ようこそ  
国際 海の手 文化都市  
横須賀へ

2017/10/2

Yokosuka General Hospital  
Uwamachi

17

## 経過（H14年7月 - H16年3月）

改修工事

H15年1月

H14年7月：うわまち病院開院（改修工事・ソフトランディング）

臨床研修指定病院

診療情報開示

Risk management : blame free

outsourcing・SPDの導入

H15年3月：ordering 導入

H15年4月：臨床研修センター設置

H15年7月：紹介率30%以上、平均在院日数17日未満目標

H15年8月：育成型人事考課一考課訓練開始

H15年10月：救急総合診療部・救急センター設置

H15年12月：急性期入院加算・紹介外来加算・

初診料の紹介患者加算 IV

H16年1月

H16年3月：電子カルテ導入

経過( H 16年 4月 - H 18年 8月)

H16年4月:患者アドボカシー室設置

H16年4月:育成型人事考課試行

H16年4月:DOCTOR CAR 導入

HOT LINE 導入(医師会・救急隊)

H16年8月:救命救急士気管挿管研修開始(プレホスピタルケア)

H16年9月:TQM 導入

新棟工事

H17年1月

H17年2月:コンプライアンス導入

H17年2月:病院機能評価受審

H17年6月:3F 病棟開棟! 劇的な経営改善!

H17年 12月:循環器科 日経新聞心臓病治療内科部門 AAA取得

H18年1月

H18年 6月:療養型・回復期リハ病棟・新手術室・新リハビリセンター・  
新低侵襲(外来)手術センター・病棟フルオープン380床

H18年 7月:DPC 準備病院

H18年9月:TQM 全国大会発表

H18年 12月:脳神経外科 日経新聞 BAA

## 経過( H 18年 9月 - H 22年 7月)

H20年1月

H19年 5月: 高圧酸素療法・BSC導入

H19年 4月: 2回目DPC 準備病院

H19年12月: 雑誌プレジデント当院循環器科 PCI 数全国160 位

H19年12月: 新 ICU 4床

H21年1月

H20年 4月: DPC 参加・7:1 看護基準取得(三浦半島初)

H20年 4月: Flat Panel Angio(2台目)・64列マルチスライスCT

H21年2月: うわまち病院診療連携の会

H21年4月: 地域医療支援病院申請

H21年11月: 地域医療支援病院認定

H22年1月

H22年4月: 地域医療振興協会・横須賀市立市民病院(482 床)の  
運営受託

H22年7月: ICU 8床へ増床、NICU 3床開設

## 経過 ( H 22年8月 - H 26年 12月 )

H23年1月

平成22年11月 : 「脳卒中」について、地域連携診療計画管理料の認定  
平成22年11月 : ハワイ大学シミュレーションセンターに見学団を送る  
平成22年12月 : がん治療連携指導料の認定

H23年1月 : OHSU Family Medicine 日比野Dr.短期留学

H23年2月 : うわまち病院診療連携の会

H23年2月 : 第5260回 QCサークル全国大会(別府)、感動賞を受賞

H23年3月11日 : 東日本大震災 災害救護派遣延べ208日

H23年3月 : ハワイ大学シミュレーションセンターSimTiki に見学団派遣

H23年4月 : 医療安全管理者の設置

H23年6月 : Sim. Hosp. Uwamachi シミュレーションセンター開設

H23年7月 : ICU 10床へ増床

H24年1月

H23年11月 : ハワイ大学シミュレーションセンターに見学団派遣予定  
OHSU, TJU 見学.Japan center計画.

H25年1月

H24年3月 : 320列マルチスライスCT導入

H25年4月 : 救命救急センター認定

H26年6月 : 手術ロボット ダ・ヴィンチ導入

## 経過 ( H 27年1月 - H 28年 10月 )

H26年7月:自治体立優良病院会長表彰

H26年8月:神奈川県周産期母子医療センター認定・  
神奈川県周産期救急医療システム中核病院認定

H27年1月:高精度放射線治療開始 (IMRT, SBRT, IGRT)

H27年4月: ICU(8床), HCU (20 床)

H27年6月:自治体立優良病院総務大臣表彰

H28年4月: ICU(8床), HCU (24 床)に増加

H28年9月: 病院機能評価 ver. 6.0受審

H28年10月:血液浄化室開設 (慢性透析の開始。透析機器10台)

H28年12月:VRE院内感染outbreak

H29年7月:VRE院内感染outbreak収束

災害拠点病院の申請

横須賀市立うわまち病院新築

- 救急・災害医療の対応能力を持ち、
- 臨床・研修・教育のすべてに高い能力を持つ病院らしい病院
- JCI / ACGMEの取得 世界標準

地域包括ケア・地域医療構想・2025年問題への対応

## 経過 ( H 27年1月 - H 28年 10月 )

**H26年7月:自治体立優良病院自治体病院協議会会長表彰**

H26年8月:神奈川県周産期母子医療センター認定・  
神奈川県周産期救急医療システム中核病院認定

H27年1月:高精度放射線治療開始 (IMRT, SBRT, IGRT)

H27年4月: ICU(8床), HCU (20 床)

**H27年6月:自治体立優良病院総務大臣表彰**

H28年4月: ICU(8床), HCU (24 床)に増加

H28年9月: 病院機能評価 (3rd G: Ver. 1.1)受審

H28年10月:血液浄化室開設 (慢性透析の開始。透析機器10台)

H28年12月:VRE院内感染outbreak

H29年6月:VRE院内感染outbreak収束

**地域包括ケア・地域医療構想・2025年問題への対応**

- ・災害拠点病院の申請
- ・横須賀市立うわまち病院新築
- ・ 救急・災害医療の対応能力を持ち、
- ・ JCI / ACGMEの取得 世界標準

November 10, 2026

# 平成27年度自治体立優良病院総務大臣表彰受賞 平成26年度自治体立優良病院自治体病院協議会会長表彰受賞



### 3 業務を実施するにあたっての留意事項

- (1) 病院の基本理念に基づき、善良な管理運営のもと管理業務を行うこと。
- (2) 公の施設であることを常に念頭において、公平、的確な運営を行うこと。
- (3) 効率的運営を行い、管理運営費の削減に努めること。
- (4) 病院の経営について収支を明らかにするため、本部等の会計と区分し会計事務を行うこと。

# うわまち病院運営にあたっての実施 すべき事項

小児・周産期医療の提供

救急医療の提供

災害医療の提供

病院機能評価の認定

地域医療支援病院の指定

基幹型臨床研修指定病院の指定

安全管理に基づく医療の提供地域医療機関との連携・  
支援、地域医療の質向上のための取組の実施

主なもの

# 横須賀市立うわまち病院

- 設置目的  
市民の健康保持に必要な医療を提供するため、「横須賀市病院事業条例」により設置した施設である。

横須賀市立うわまち病院指定管理業務仕様書

# うわまち病院の特色

高機能を追求するだけではない、市民の必要とする幅広い医療の提供、市民が安心して受診できる優しい対応を心がけています。

# 横須賀市立うわまち病院概要

許可病床数 417床

(一般病床287床、回復期病床50床、療養病床50床)

診療科数 28科

開設年月日 平成14年7月1日

## 医療指定

保険医療機関、全国国保取扱医療機関、生活保護法指定医療機関、地域医療支援病院、認定結核予防法指定医療機関、労災法指定医療機関、更生(育成)医療機関、指定養育医療機関、臨床研修指定病院、麻酔科標榜許可、救急病院認定、DPC対象病院、救命救急センター、神奈川県災害協力病院、地域周産期母子医療センター、難病指定医療機関



おはようございます  
静かな待合室



*calm and short hospital stay  
no T.V. or magazine*

病院滞在は極力短時間に  
勿論、テレビも雑誌(感染防止)もありません

A group of medical staff, including doctors and nurses, are gathered in a hospital ICU for a morning conference. They are wearing white lab coats and blue scrubs, and many are wearing face masks. They are looking at papers and talking to each other. The room has white cabinets and a calendar on the wall.

# 救命救急センター・ICU morning conference

**ICU-8, HCU-24 / NICU-6, GCU-6**  
毎朝のラウンド、多職種・全科の垣根を取り払う

# 全体集会 毎月



2017/10/5

Yokosuka General Hospital  
Uwamachi

33

当直者(16名医師**10**名、コメディカル**6**名)  
朝のミーティング

真夜中でも明るい病院  
高機能が全てではない・市民に安心を与える救急医療提供体制

朝の医局会・毎週  
—— 医師の間の  
コミュニケーションの良さが自慢です



# 病院の理念ならび基本方針

## 病院理念

「私たちは、優しい心、深い知識、高い技術をもって安全に配慮した、良質な医療を提供し、地域社会に貢献します。」

## 基本方針

- ①私たちは説明責任を果たし、医療の透明性を保つことで、安全な医療を受診者とともに築きます。
- ②私たちは、救急・災害医療の充実につとめます。
- ③私たちは、診療連携に力を入れ、市民とともに地域医療を守ります。
- ④私たちは、医療に従事する誇りとよろこびを持ち、勤勉であり、強い意志を持ち、進歩的で合理的な考え方に基づいた医療を提供します。
- ⑤私たちは、自己の教育能力を高め、教育研修病院として将来の地域医療を担う人材の育成につとめます。

# 横須賀市立うわまち病院

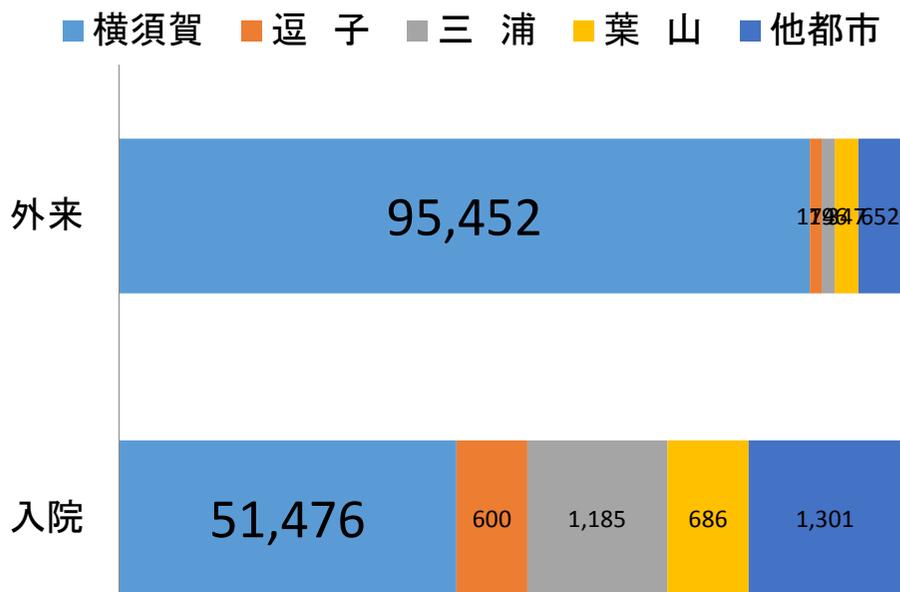
- 設置目的  
市民の健康保持に必要な医療を提供するため、「横須賀市病院事業条例」により設置した施設である。

横須賀市立うわまち病院指定管理業務仕様書

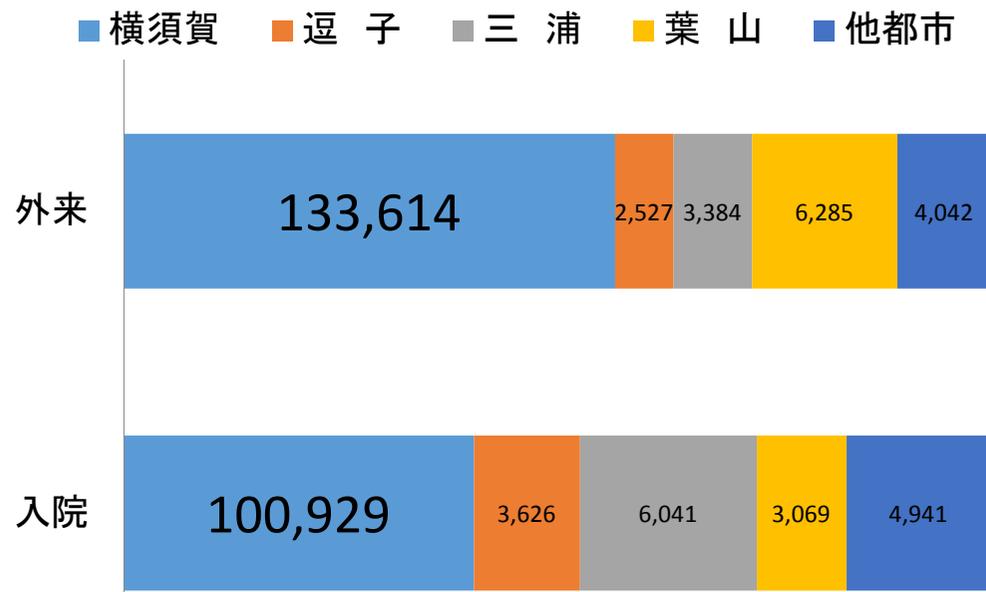
実施すべき医療機能

# 多くの横須賀市民の方が利用しています

地域別患者延べ数(H14)開設時



地域別患者延べ数(H28)現在

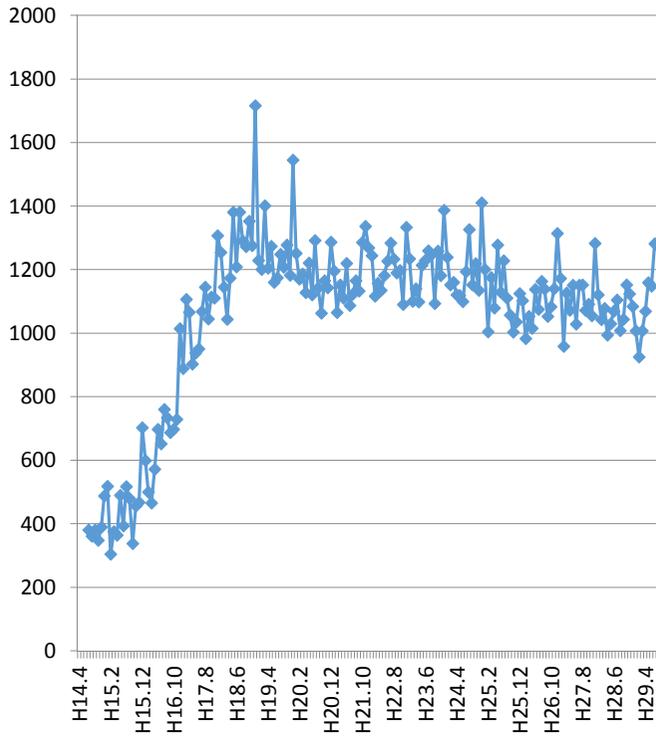


	横須賀	逗子	三浦	葉山	他都市	合計
外来	95,452	174	196	347	652	96,821
外来構成比	98.6%	0.2%	0.2%	0.4%	0.7%	100%
入院	51,476	600	1,185	686	1,301	55,248
入院構成比	93.2%	1.1%	2.1%	1.2%	2.4%	100%

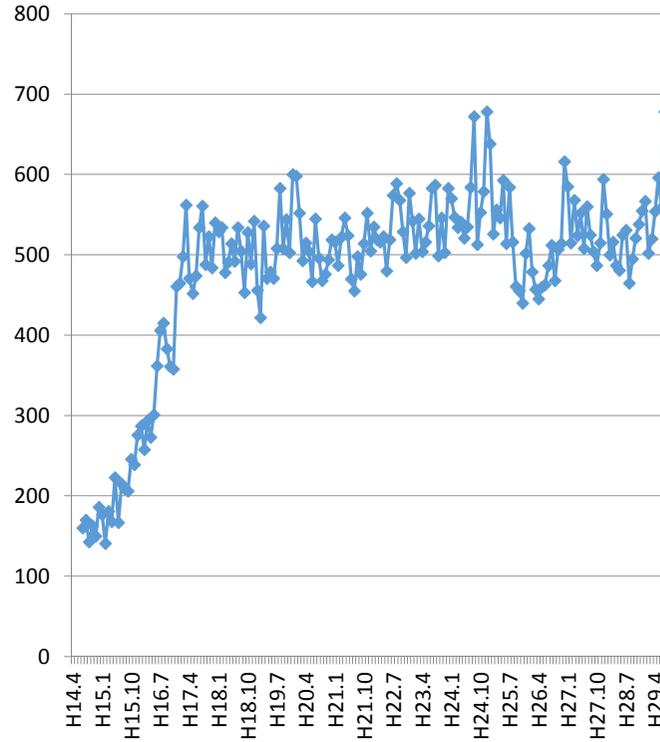
	横須賀	逗子	三浦	葉山	他都市	合計
外来	133,614	2,527	3,384	6,285	4,042	149,852
外来構成比	89.2%	1.7%	2.3%	4.2%	2.7%	100%
入院	100,929	3,626	6,041	3,069	4,941	118,606
入院構成比	85.1%	3.1%	5.1%	2.6%	4.2%	100%

# 診療統計(H14-29)

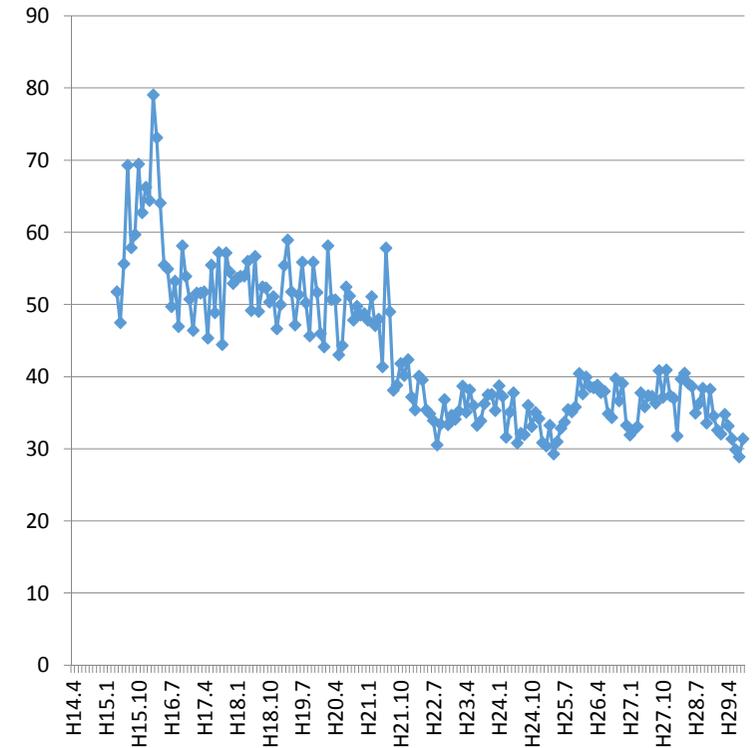
## 救急患者延べ数



## 救急車搬入患者延べ数

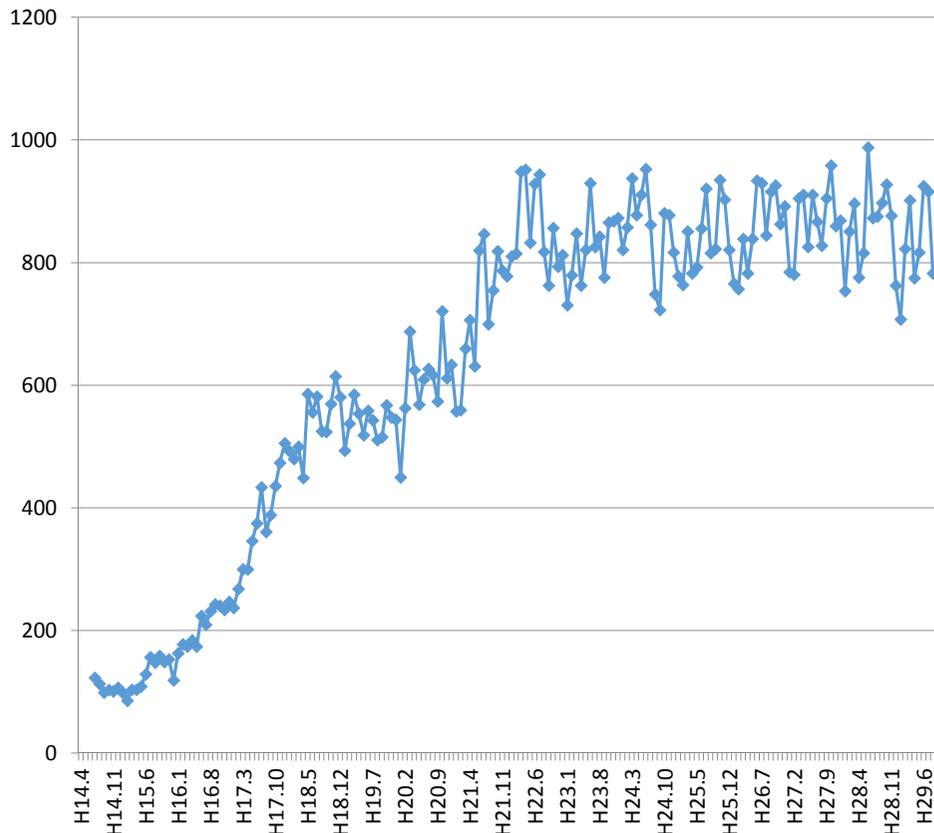


## 救急車搬入患者入院率

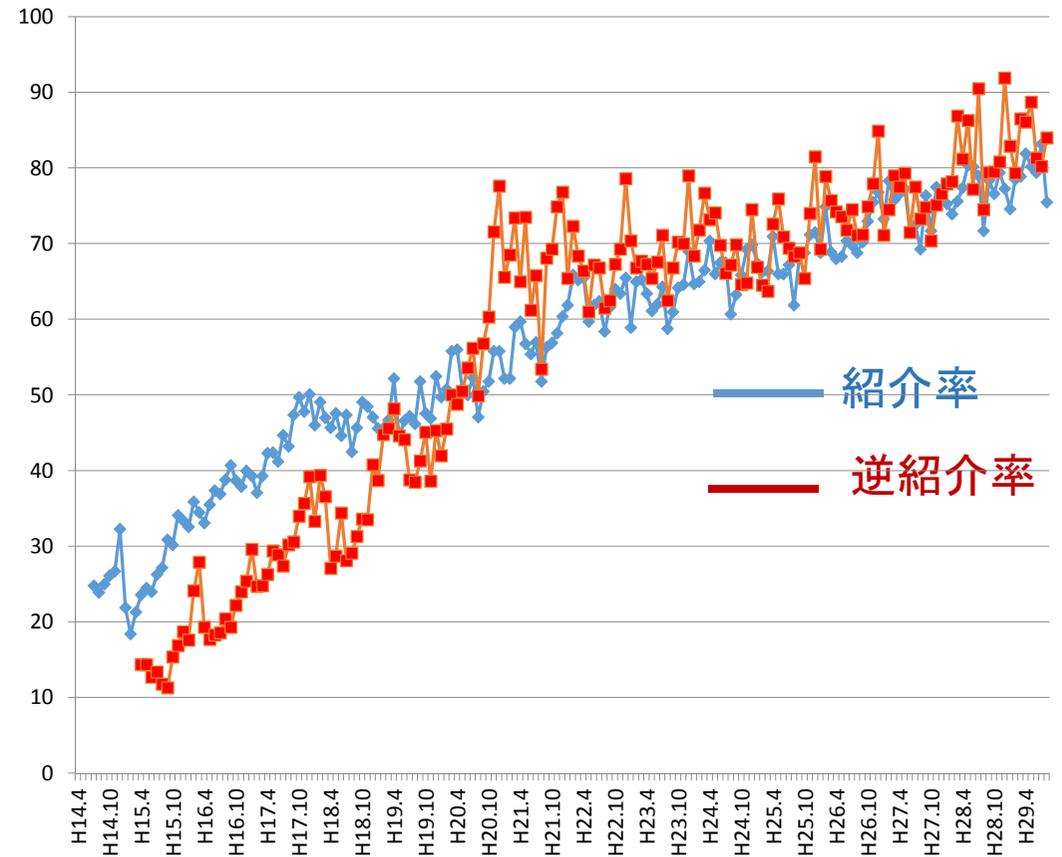


# 診療統計(H14-29)

## 紹介患者延べ数

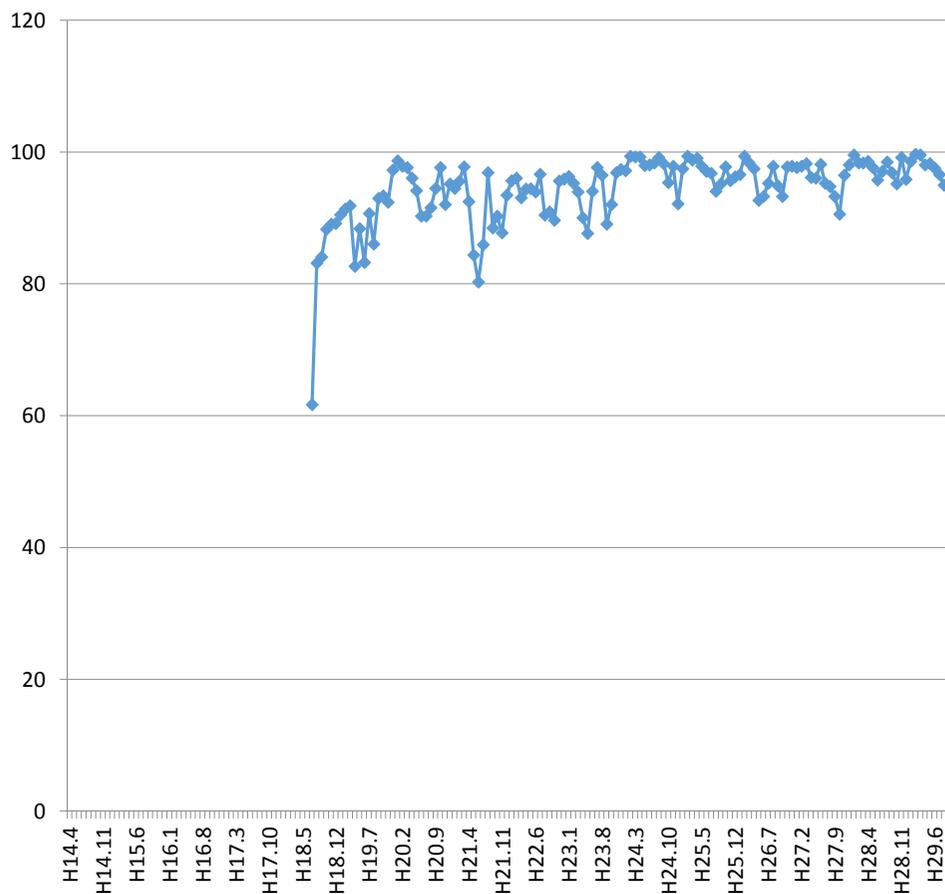


## 紹介率・逆紹介率

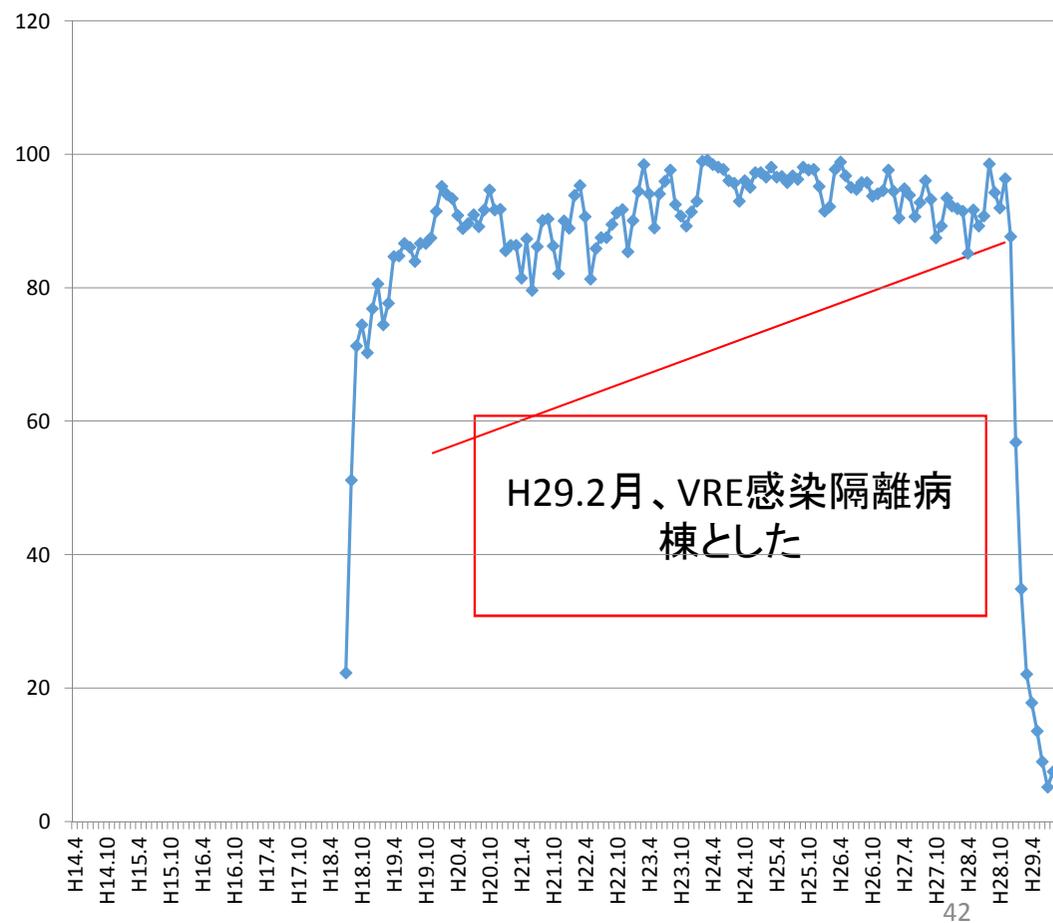


# 診療統計(H14-29)

## 南3階病床利用率

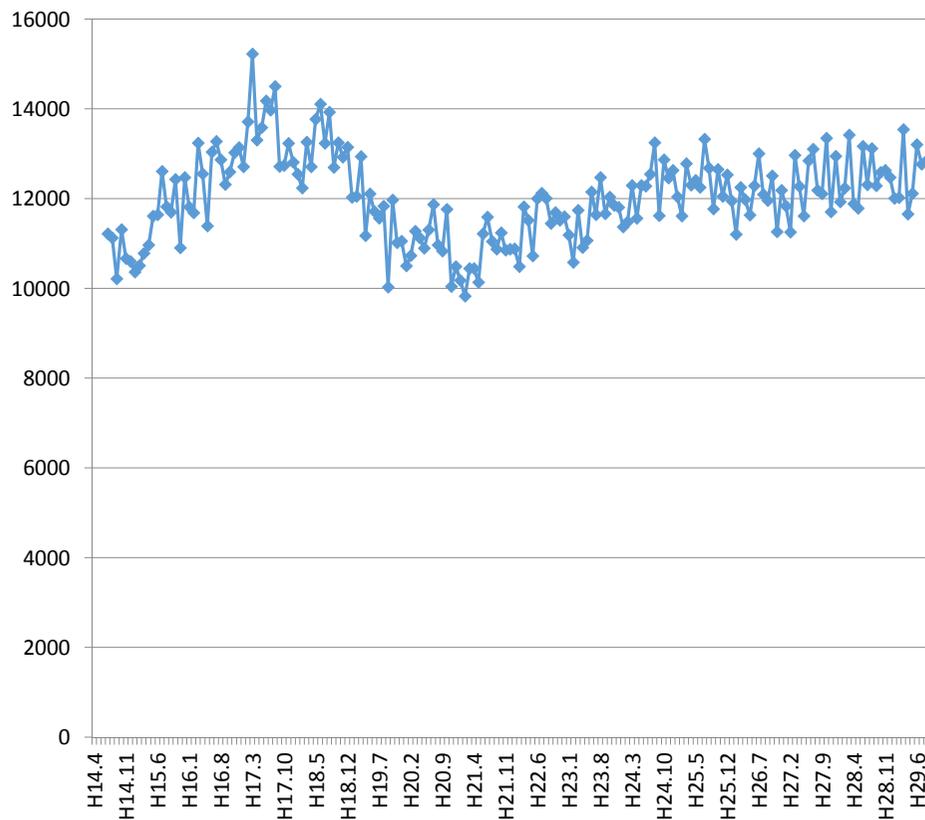


## 南4階病床利用率

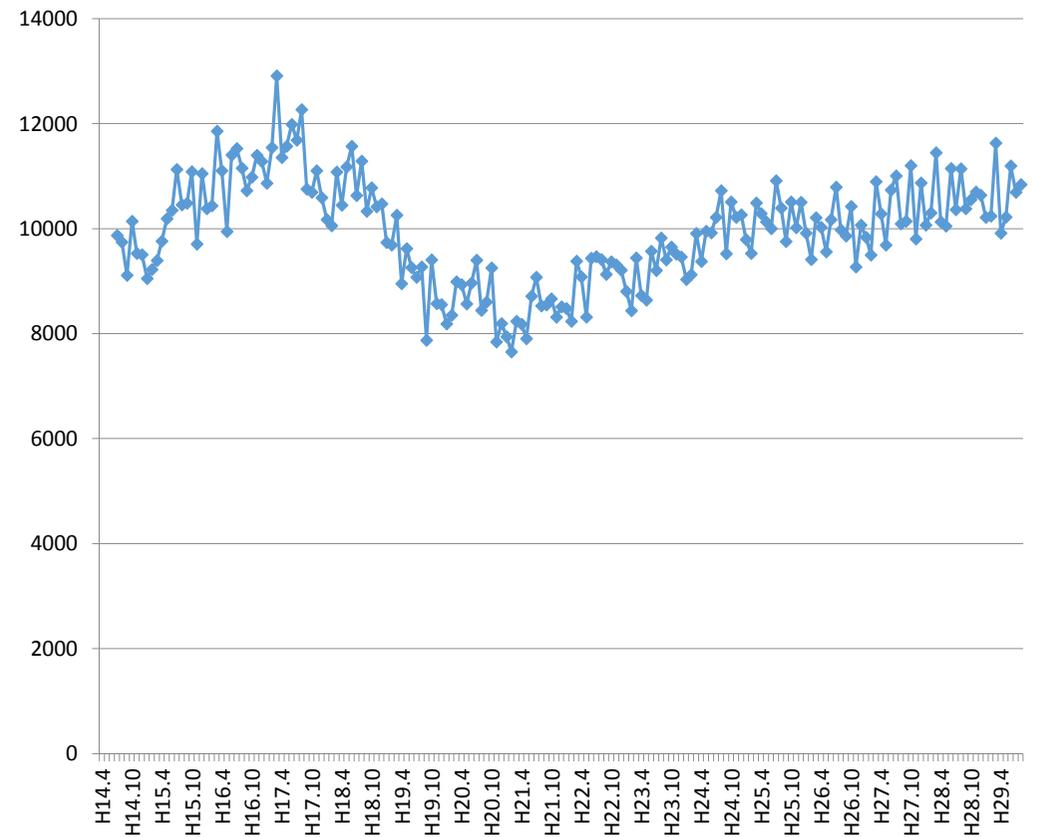


# 診療統計(H14-29)

## 外来患者延べ数

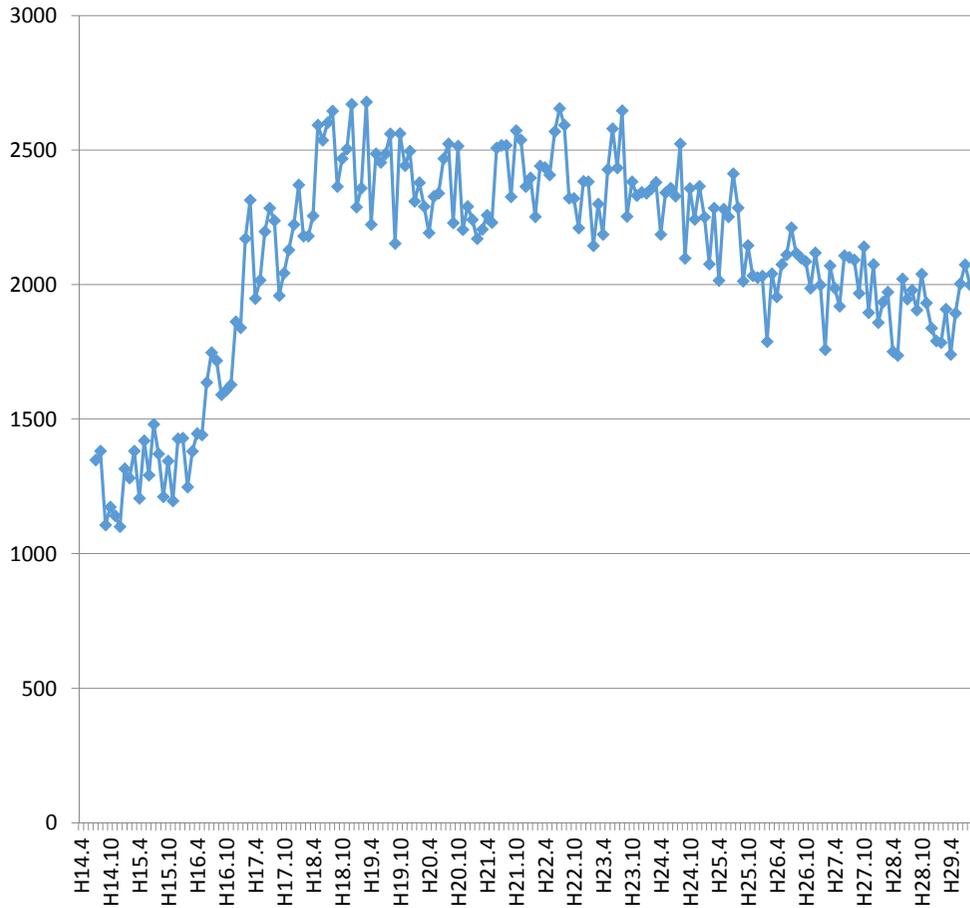


## 再来患者延べ数

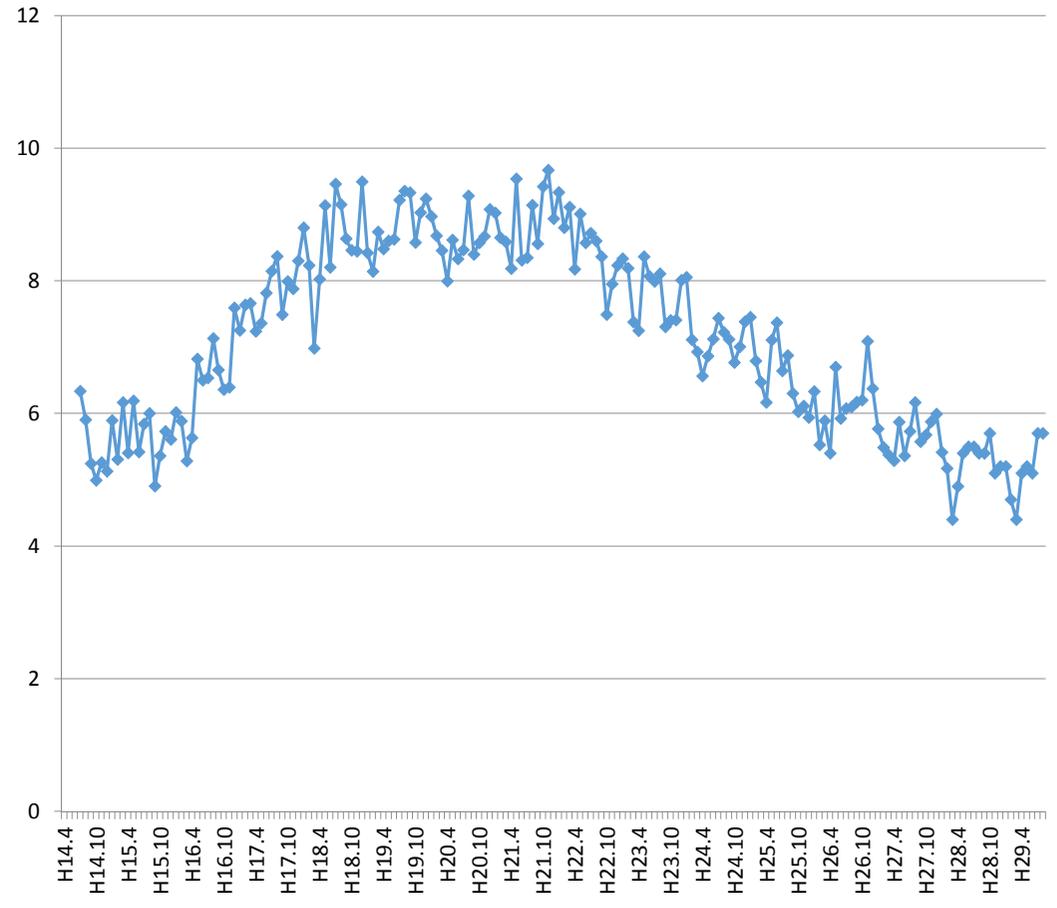


# 診療統計(H14-29)

## 初診患者延べ数

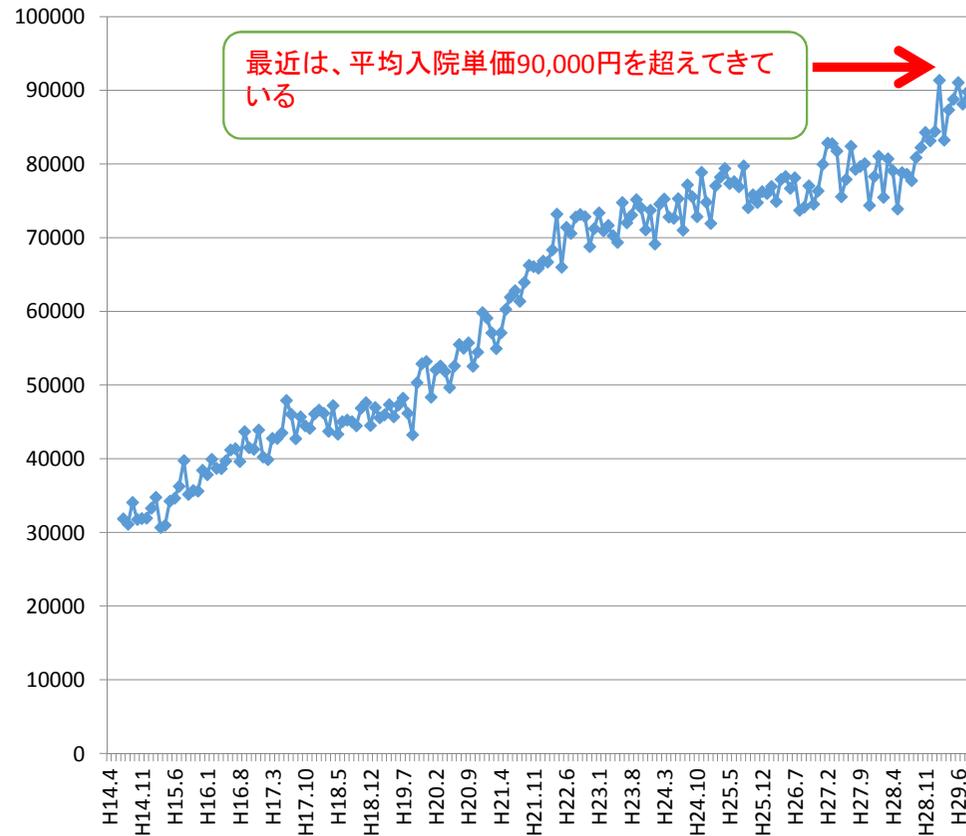


## 初診患者率(ID)

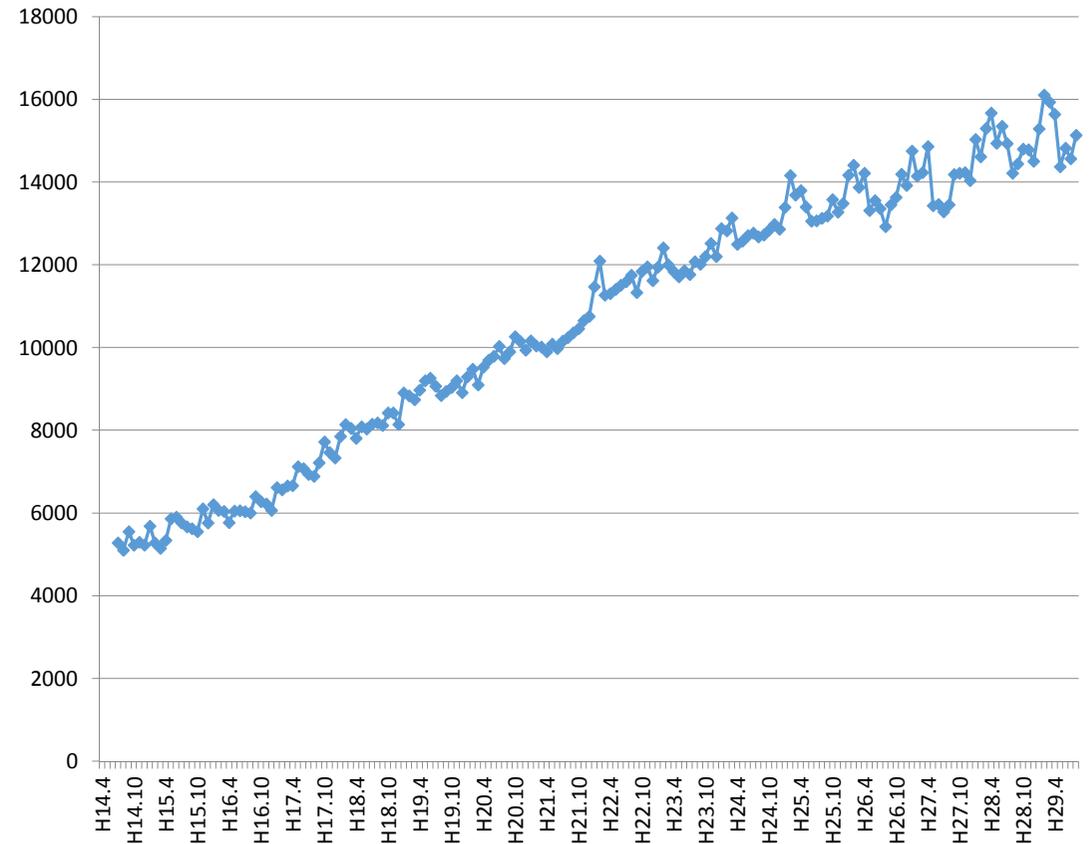


# 診療統計(H14-29)

## 平均入院単価



## 平均外来単価



# DPC機能評価係数Ⅱ ランキング (2016年度・DPC病院Ⅲ群 1446病院、神奈川72病院)

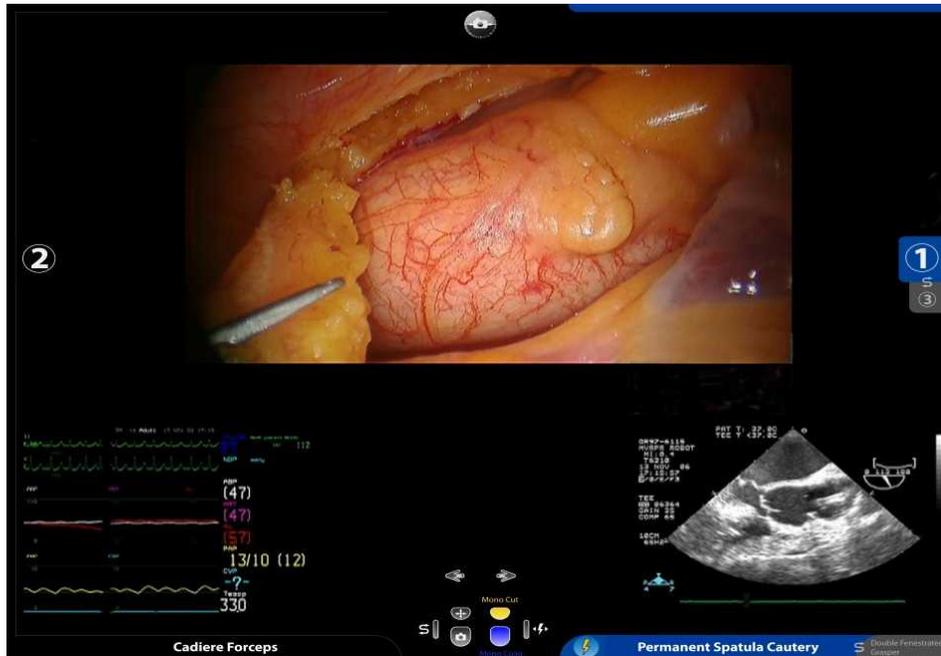
順位	病院名	群	都道府県	2014年度	2015年度	2016年度
12	菊名記念病院	Ⅲ	神奈川県	0.0727	0.072	0.088
30	藤沢市民病院	Ⅲ	神奈川県	0.0675	0.0658	0.0839
40	横須賀市立うわまち病院	Ⅲ	神奈川県	0.0709	0.0671	0.0829
44	恩賜財団済生会横浜市南部病院	Ⅲ	神奈川県	0.055	0.056	0.0823
50	社会医療法人財団石心会川崎幸病院	Ⅲ	神奈川県	0.0563	0.0606	0.0817
80	湘南東部総合病院	Ⅲ	神奈川県	0.0428	0.0557	0.0787
136	横浜市立市民病院	Ⅲ	神奈川県	0.0544	0.0544	0.0756
144	聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院	Ⅲ	神奈川県	0.0537	0.0518	0.0752
144	川崎市立多摩病院	Ⅲ	神奈川県	0.0574	0.0534	0.0752
157	日本医科大学武蔵小杉病院	Ⅲ	神奈川県	0.0468	0.0495	0.0749
163	国家公務員共済組合連合会平塚共済病院	Ⅲ	神奈川県	0.059	0.0603	0.0746
163	医療法人社団哺育会桜ヶ丘中央病院	Ⅲ	神奈川県	0.0445	0.0424	0.0746
172	小田原市立病院	Ⅲ	神奈川県	0.0563	0.0555	0.0743
180	医療法人社団明芳会横浜新都市脳神経外科病院	Ⅲ	神奈川県	0.0642	0.0733	0.0741
211	独立行政法人国立病院機構横浜医療センター	Ⅲ	神奈川県	0.059	0.0568	0.0728
246	神奈川県立足柄上病院	Ⅲ	神奈川県	0.0612	0.0602	0.0714
257	川崎市立川崎病院	Ⅲ	神奈川県	0.0537	0.0587	0.071
279	汐田総合病院	Ⅲ	神奈川県	0.0619	0.0634	0.07
286	厚木市立病院	Ⅲ	神奈川県	0.0562	0.0552	0.0698
292	東名厚木病院	Ⅲ	神奈川県	0.0572	0.058	0.0696
301	茅ヶ崎市立病院	Ⅲ	神奈川県	0.0495	0.0565	0.0694
301	独立行政法人国立病院機構相模原病院	Ⅲ	神奈川県	0.0578	0.0531	0.0694
306	平塚市民病院	Ⅲ	神奈川県	0.0521	0.0539	0.0693
312	国家公務員共済組合連合会横浜栄共済病院	Ⅲ	神奈川県	0.0626	0.059	0.0692

神奈川  
21位まで

## 高精度放射線治療開始(H27.2~)



# 手術ロボットダ・ヴィンチ導入 (H26.6～)



## 先進的医療への取組み（先取り）

	横須賀市立うわまち病院	横須賀共済病院	横須賀市立市民病院
電子カルテの導入	平成16年3月	平成18年10月	平成28年3月
看護基準7対1の導入	平成20年10月	平成21年6月	平成24年7月
ICU(特定集中治療室)の開設	平成19年12月	—	平成18年7月
HCU(ハイケアユニット)の開設	平成25年4月	平成26年4月	平成26年4月
NICU(新生児集中治療室)の開設	平成22年7月	平成19年9月	平成22年6月
GCU(新生児治療回復室)の開設	平成26年11月	平成24年10月	—
D P C対象病院	平成20年4月	平成18年7月	平成20年4月
高精度放射線治療装置導入	平成27年2月	—	—
手術支援ロボット「ダ・ヴィンチ」導入	平成26年6月	平成28年	—
320列C T導入	平成23年3月	平成27年1月	平成27年3月
低侵襲手術センターの開設	平成18年6月	—	—
ドクターカー導入(24時間365日)	平成16年5月	—	—

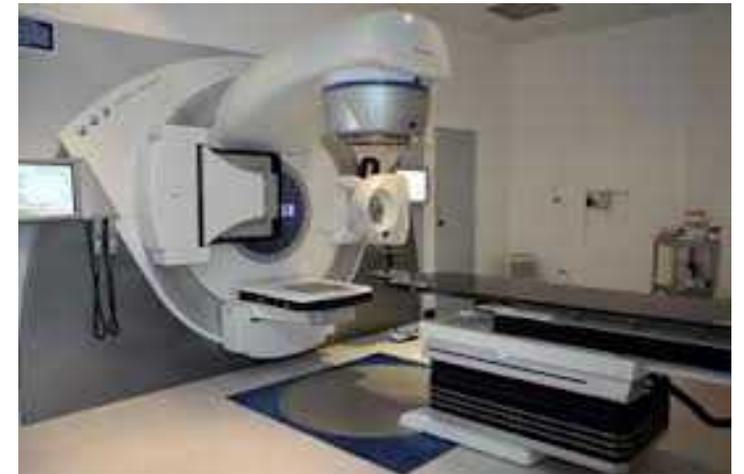
# 外来診療の提供

①今後も、救急疾患や専門性を必要とした紹介患者の外来診療を確実に引き受けながら、市立病院として敷居が低く間口の広い外来診療を行います。

②最近の実績について

- 平成27年2月より開始した高精度放射線治療については、画像誘導をもとにした定位照射の機能を有したエレクタ社製AXES SE(アクセス)を導入しました。副作用を最小限におさえて、がんの種類によっては手術と同等の治療効果が期待できることを特徴としており、月250件以上の照射実績をあげています。
- 平成28年10月には血液浄化室を開設し、今までも緊急時の透析治療を行っていましたが、血液浄化室の開設により診療体制を拡充し、新たに透析を始める腎不全患者さんの透析導入も行っています。
- 患者さんが継続した社会生活を送れるよう、外来がん化学療法 of 拡充も進めていきます。

③地域の診療所や病院と親密な診療連携をとって、患者のために効率的な診療を行っていきます。



高精度放射線治療装置



血液浄化室(8ベッド)

# 入院診療の提供

- ①横須賀市立うわまち病院の病床数については、三浦半島地区の急性期医療を担う病院として引き続き適切な病床数を維持します。
- ②特定集中治療室(ICU)8床と救命救急センター(HCU)24床との機能を強化し、救急疾患および重症疾患に高度な医療を提供します。さらに、新生児集中治療室(NICU)6床、新生児集中治療回復(GCU)7床も充実させます。
- ③治療後のADLの低下が著しい脳卒中等の疾患に対しては救命救急センターに脳卒中ケアユニット(SCU)の機能を維持し、高度な医療を提供します。各分野の専門・認定看護師、専門・病棟薬剤師、管理栄養士、理学療法士、臨床工学技士等を育成し、高度なチーム医療を提供します。
- ④平成26年6月に導入した手術支援ロボット「ダ・ヴィンチ」は、保険適用範囲が泌尿器科領域に限られておりますが、順調に稼働してきております。



手術支援ロボット「ダ・ヴィンチ」

# 2025年問題

## 将来入院患者数分析(横須賀・三浦二次医療圏)①

2010-2035

横須賀・三浦二次医療圏合計

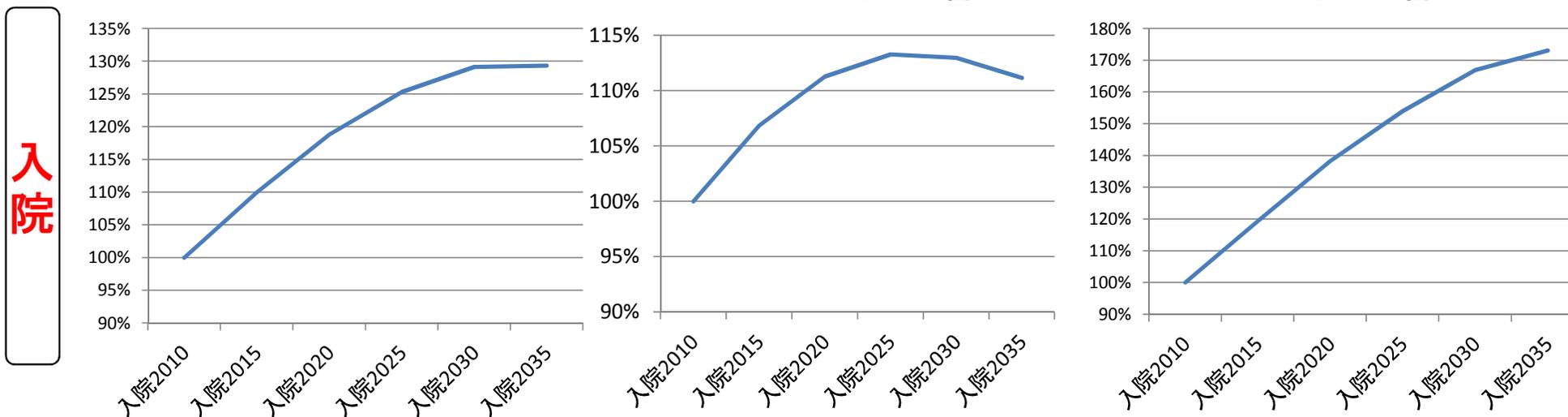
悪性新生物

肺炎

130%まで増加

113%まで増加

175%まで増加



推計値は大凡

東京医科歯科大学大学院医療政策情報学分野 伏見清秀教授による  
「二次医療圏別疾病別将来患者数分析ツール」より

# 将来入院患者数分析(横須賀・三浦二次医療圏)②

## 2010-2035

虚血性心疾患

脳血管疾患

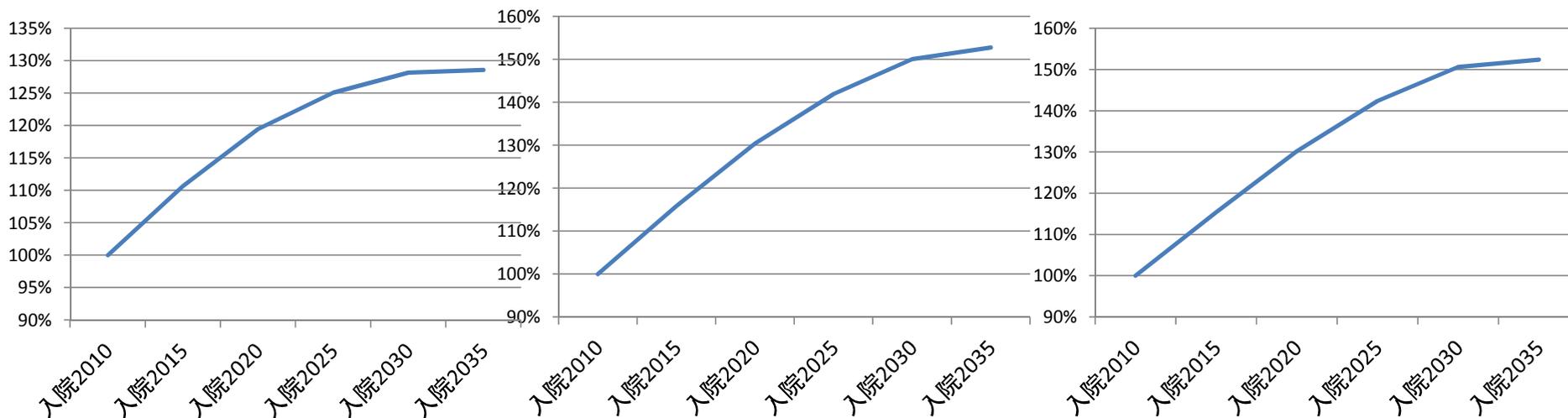
骨折

130%まで増加

150%以上増加

150%以上増加

入院



推計値は大凡です

東京医科歯科大学大学院医療政策情報学分野 伏見清秀教授による  
「二次医療圏別疾病別将来患者数分析ツール」より

## 2025年問題への対応

「合理的で効率的かつ優しい対応で市民に安心を」

- \* 心不全パンデミックへの対応 ICU, CCU, HCU
- \* 高齢者肺炎の急増への対応 RCU, ICU
- \* 脳卒中の地域完結率を上げ、寝たきりを減らす SCU
- \* 骨折、特に大腿骨頸部骨折への救急対応力を上げ、寝たきりを減らす
- \* 在宅復帰へのリハビリテーション機能の充実！  
回復期リハビリテーション機能の強化
- \* 在宅医療(地域包括ケア)を強力に支援します  
在宅後方支援病院(24時間入院を受け入れます)

# 適正な看護サービス

一般病床における7対1入院基本料を引き続き維持するよう努めます。

また、救命救急センター、回復期リハビリテーション病棟等の施設基準に基づいた適切な看護体制を維持していきます。

また、広い心と優しさを持って患者や家族に寄り添い、ともに笑顔で歩いていける看護を提供します。

チーム医療を推進し、患者や家族の意思を尊重した安全で質の高い医療・看護の提供に努めます。専門職として確かな知識・技術と高い倫理観を持った看護師の育成を行うとともに、専門・認定看護師と部署・部門との連携を強化し、常に水準の高い看護を目指します。そのため、今後も引き続き看護師確保を強化していきます。



# 救急医療の提供

横須賀市民に24時間安心の暮らしを保証します。三浦半島病院群救急輪番制の中核として、従来どおり二次救急医療を提供します。さらに最後の砦として三次救急医療を提供し、年間6,000台から6,500台の救急車受入れ件数を数える救命救急センターとして救急医療に貢献します。三浦半島唯一の24時間365日ドクターカー運用医療機関として、今後もその活動を継続・発展させていきます。

特定集中治療室(ICU)の拡充や救急医師の確保ならびに救急・消防との連携強化として勉強会、ACLS、気管内挿管研修等の実施を行っていきます。

また、三浦半島メディカルコントロール協議会の中核施設として地域救急医療に貢献します。



# 救急医療の提供

## 7人の救急専門医

横須賀市民に24時間安心の暮らしを保証します。

年間約7000台の救急車受入れ件数を数える救命救急センターとして三次救急医療を提供し、救急医療に貢献します。三浦半島唯一の24時間365日ドクターカー運用医療機関です。

救命救急センターとしてHCU 24床、特定集中治療室(ICU)8床で重症者の治療体制も万全です。

三浦半島メディカルコントロール協議会の中核施設です。

しかし、救命救急センターでありながら、ER型の救急診療体制をとっており、Walk in、在宅の救急患者さんにもオープンで敷居の広く間口の広い救急体制であることが誇りです。



# 横須賀・三浦保健二次医療圏内の 3救命救急センターの評価結果

	開設者	平成28年度 救急科 専門医数	平成25年度実績		評価
			評価項目の合計点数	是正を要する項目の合計点数	
湘南鎌倉総合病院	医療法人	6	81	8	A
横須賀市立うわまち病院	横須賀市	7	72	0	A
横須賀共済病院	国共済	3	68	2	A

7人の救急専門医

# ドクターカー(2台)の運行形態

\*\*\* 基本的には出動要請は医師

- 1) 病院・診療所間搬送 救急車レベルでは運搬に困難あり  
医師の処置・観察が必要な患者を  
安全に搬送する
- 2) 医師の現場出場 患者搬送に困難があり、緊急処置  
が必要な場合、医師が現場で医療  
活動を行う
- 3) 心肺停止患者対応 医師、救急救命士と連携して活動を行う  
(ドクターカーと救急車のドッキング)

*Mobile CCU*

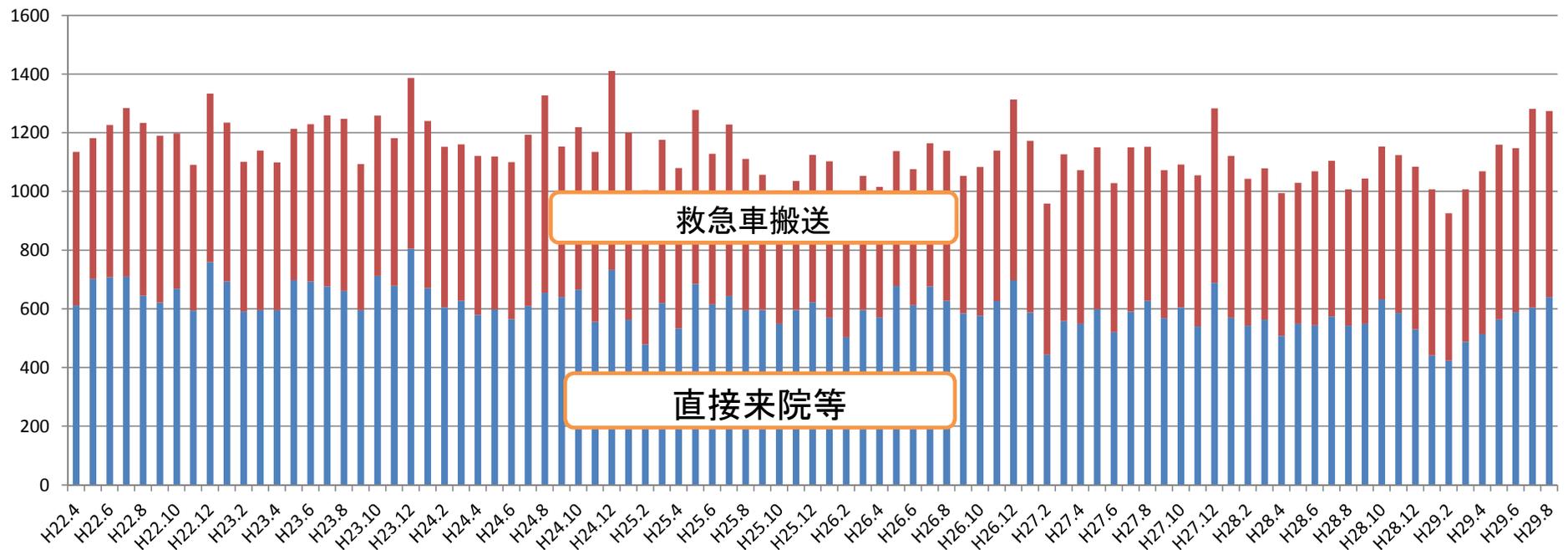
搭載資器材 (ベース車両は高規格救急車)

- ・心電図モニター、酸素ボンベ
- ・気道確保セット、外傷処置セット
- ・緊急医薬品、直流除細動器、人工呼吸器
- ・IABP (大動脈内バルーンポンプ)、PCPSまで他



# 救急患者数／月（H22～H29）

救急車受入台数は年間約6,500台（今年は7,000台以上）と病床規模に比し多数少ない救命救急センター病床・狭い救急外来で効率的に  
武器はハードではなく、ハート&ソフト



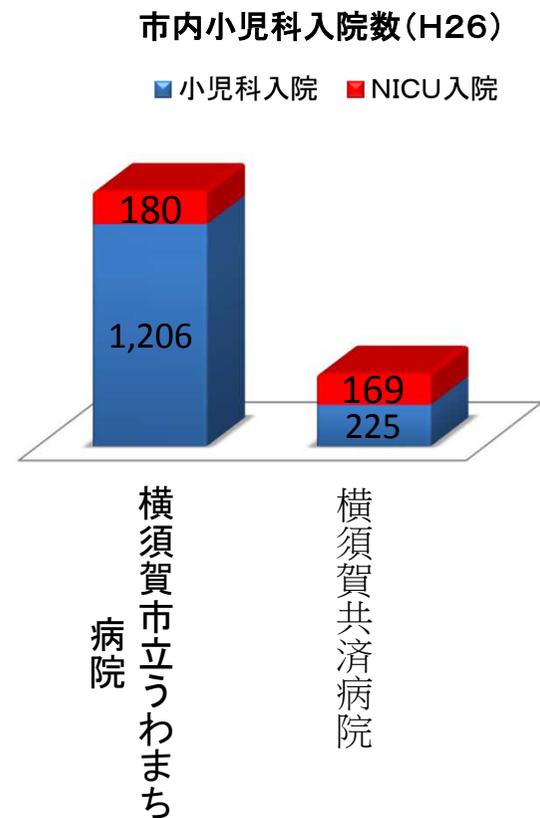
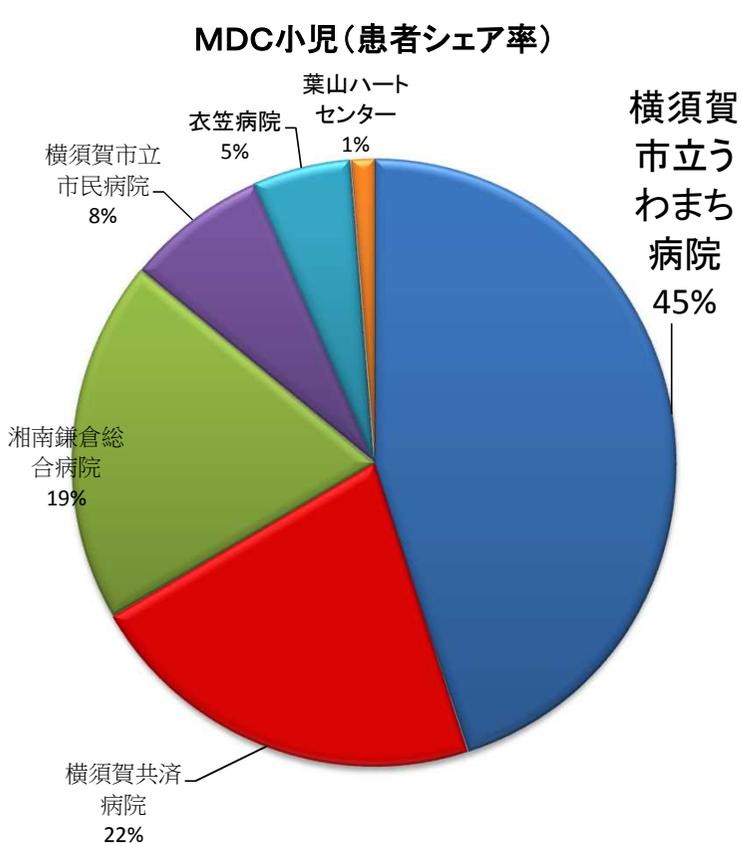
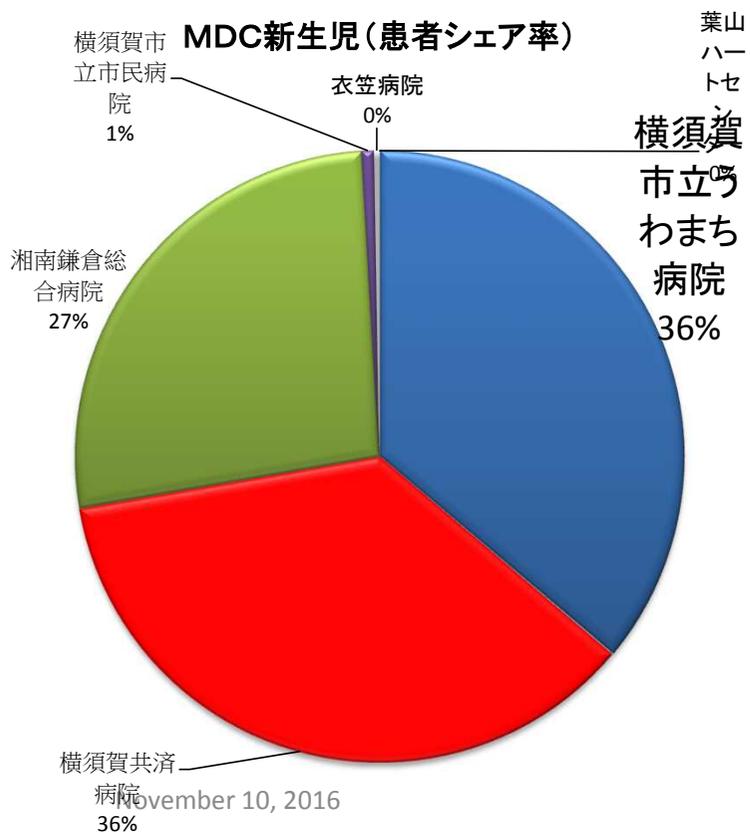
# 小児・周産期医療の提供

- 子どもたちの生命および心と身体の健康を守るためには、小児科のさまざまな専門科を統合し、総合的に診療を行うことが必要と考え、統括部門として平成20年に小児医療センターを設置、平成22年7月にNICUを開設、平成26年11月にGCUを併設しています。
- 平成26年8月には、神奈川県周産期救急医療システムにおける中核病院の指定および地域周産期母子医療センターの認定を受け、小児科常勤医師は総勢13名体制、産婦人科常勤医師は5名体制により、24時間体制で一貫した対応を確保し診療にあたっています。
- また、日本小児科学会が提唱する「地域小児科センター」構想に沿った小児医療を実践しています。当院には年間延べ9,000人の子どもたちが入院し、「横須賀市の小児医療の中心」として機能しており、院内出生の新生児はもちろん、神奈川県全域からの依頼に迅速に対応し、幅広い疾患の治療を行っています。
- 今後は小児集中治療室(PICU)の整備を図り、当地域で発生する重症小児疾患の治療の充実を図ります。



# 小児・周産期医療の提供(2)

- ☑ NICU6床、GCU7床の併設
- ☑ 神奈川県周産期救急医療システムにおける中核病院の指定(平成26年8月)
- ☑ 神奈川県地域周産期母子医療センターの認定(平成26年8月)



# 地域医療における機能分担と連携

地域医療連携推進のため、当院では「顔の見える診療連携」を合い言葉に積極的に医師会員との交流を展開してきました。さらに、平成28年度からは地域の病院間連携を強化し、病院相互間の機能の分担及び業務の連携を推進（入退院支援センター）、患者に適切な医療を提供、医療従事者の人的支援および共同研修・教育、医療機器等の共同利用等による経営の効率化等を図っています。

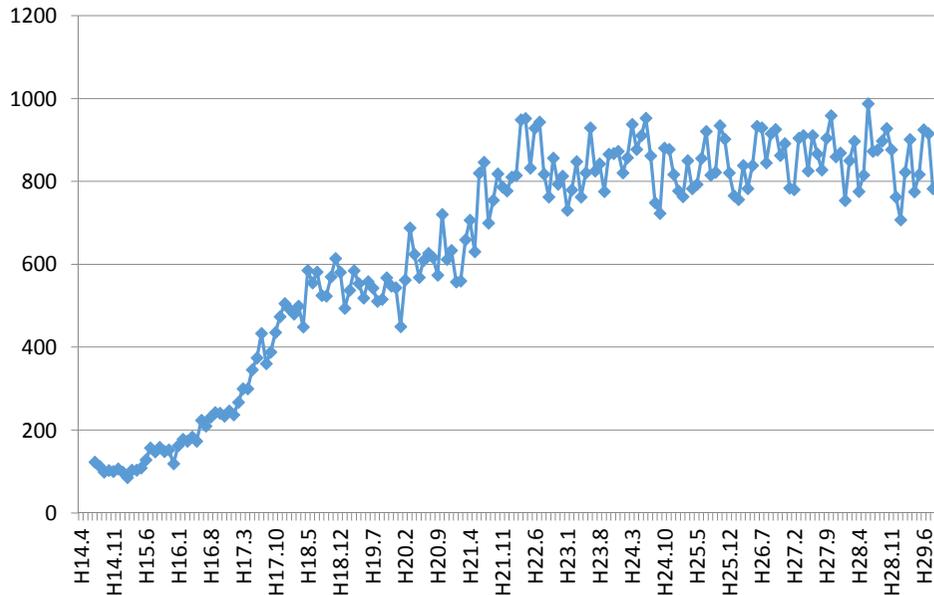
また、外部から当院電子カルテシステムにアクセスし予約可能となるシステムを構築し、地域医療システムを効率化します。さらに、画像などの診療情報を他の医療機関と共有するシステムを構築していきます。



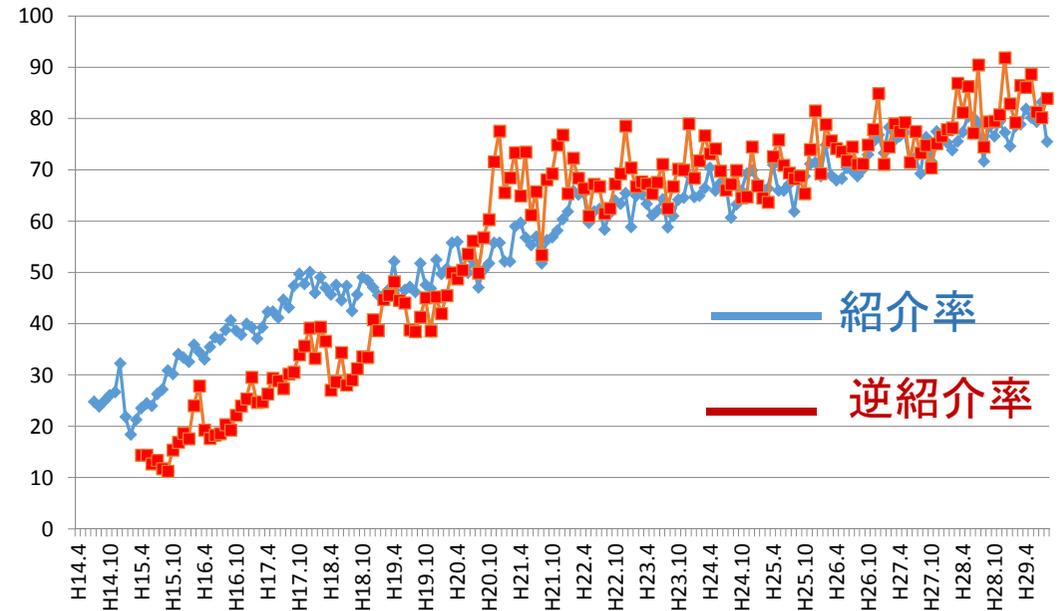
# 地域医療支援病院の指定

現在、地域医療支援病院の基準である紹介率・逆紹介率においては、基準数値を大きく上回る数値を維持しています。今後も地域医療支援病院を維持し、三浦半島地区における医療連携の推進ならびに病院や診療所等への診療支援や地域医療従事者に対する研修受入を引き続き行っていきます。

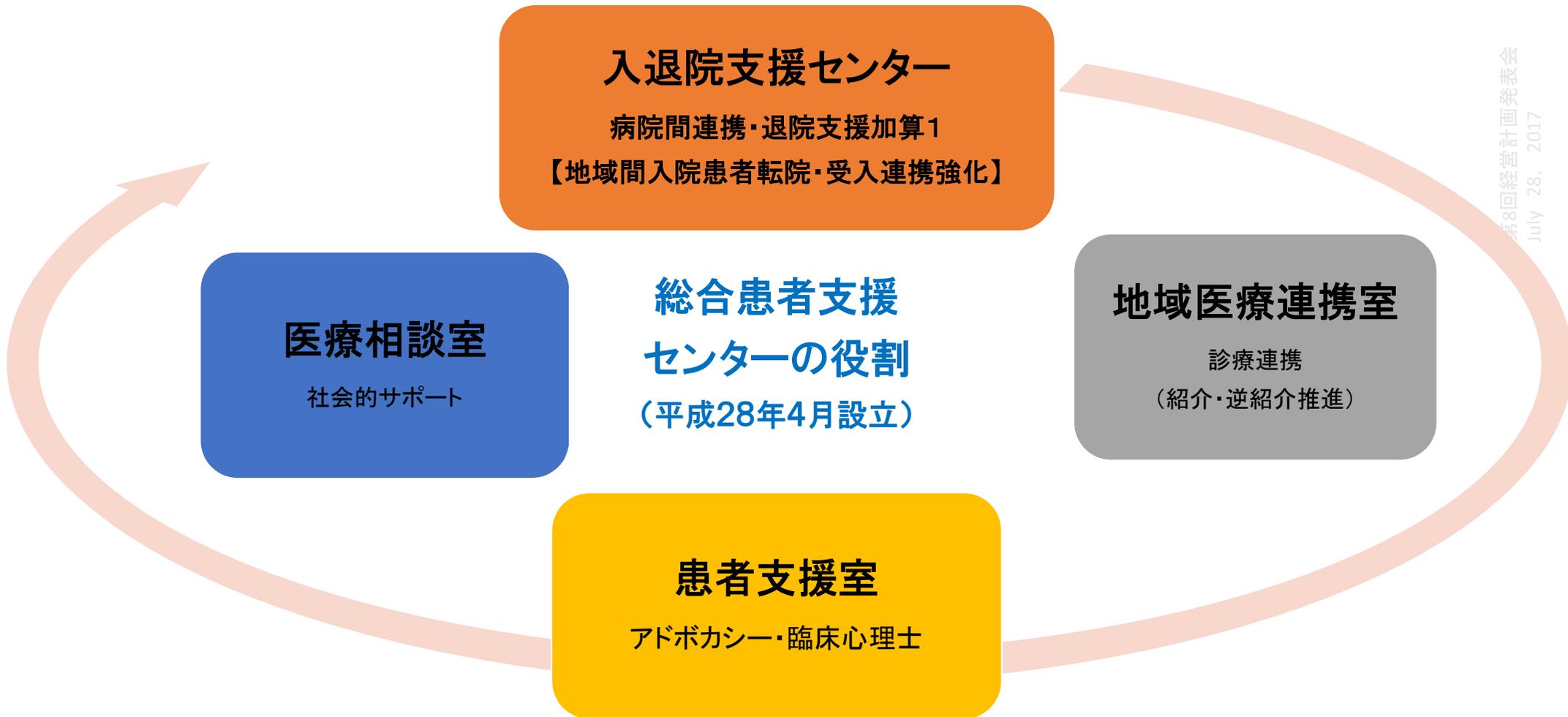
紹介患者延べ数



紹介率・逆紹介率



# 入退院支援センターの設立【PFM】



## 退院支援加算算定件数・病病連携の進展

	退院支援加算1:一般600点、療養1,200点 退院支援加算2:一般190点、療養635点													
平成28年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	
一般病棟退院数(除く死亡退院)	638	612	657	651	674	633	638	597	663	491	561	695	7,510	
退院支援加算2(一般)作成数													121	121
退院支援加算2(一般)算定数	29	31	41	46	43	34	30	21	26	29	23	87	440	
療養病棟退院数(除く死亡退院)	5	6	7	8	4	7	3	7	15	2	5	10	79	
退院支援加算2(療養)	0	1	3	4	0	0	0	0	2	2	2	0	14	
介護支援連携指導料	1	0	1	0	1	1	0	1	15	24	6	18	68	
平成29年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	
一般病棟退院数(除く死亡退院)	645	640	668	673	681	193							3,500	
退院支援加算2(一般)作成数	340	540	590	/	/	/	/	/	/	/	/	/	1,470	
退院支援加算2(一般)算定数	234	335	396	/	/	/	/	/	/	/	/	/	965	
退院支援加算1(一般)作成数	/	/	/	588	601								1,189	
退院支援加算1(一般)算定数	/	/	/	553	521								1,074	
療養病棟退院数(除く死亡退院)	9	7	14	4	4	1							39	
退院支援加算2(療養)	4	4	5	/	/	/	/	/	/	/	/	/	13	
退院支援加算1(療養)	/	/	/	1	2	0							3	
介護支援連携指導料	18	12	10	10	6	1							57	

# 災害医療の提供(1)

- 横須賀市立うわまち病院は、大規模災害時の災害拠点病院として指定を受けていませんが、平成26年3月に国が指定する災害拠点病院と同様の機能を有する[災害協力病院](#)に神奈川県より指定されています。
- 現在横須賀市内にある2つの災害拠点病院は海拔の低い位置に所在している状況です。そのため、高台に位置する横須賀市立うわまち病院としては、横須賀市の津波災害に備えた体制整備と強化を期待されています。災害用備蓄に関しては、当院のみならず横須賀市にも支援をいただきながら整備し、災害に備えたいと思います。
- 当院として事業継続計画(BCP)を作成し、さらに地域の医療機関との連携及び支援に努めるべくドクターカーの派遣やトリアージ訓練を行い、平成29年3月に神奈川県知事から指定された神奈川DMAT-Lや消防機関との連携など、災害時医療体制の整備を進めながら[災害拠点病院の取得を目指します。](#)
- また、薬剤部においては横須賀市の地域防災計画に協力し、原子力災害に備えたヨウ化カリウム剤を備蓄しています。



# 災害医療の提供(2)

- ☑ 神奈川県災害協力病院に指定 (平成26年3月)
- ☑ 現在地は、標高28mの立地にあり、津波対策に適している

## 神奈川県災害協力病院 指定証

医療機関名 横須賀市立うわまち病院

所在地 横須賀市上町2-36

この医療機関を神奈川県災害協力病院に指定します

平成26年3月27日

神奈川県知事 黒岩祐治



災害協力病院は、国が指定する災害拠点病院と同様の機能を有する病院です。当院は、平成26年3月に神奈川県より災害協力病院に指定されています。また、平成29年3月には神奈川県知事から神奈川県DMAT-Iに指定されました。

# へき地等に対する医療支援

医療に恵まれない地域等に医師を派遣するために、総合医や専門医を多く育成しています。この育成を行うために十分な教育体制を整備していきます。また、地域の医療従事者に対する研修として、他施設の医療従事者の受け入れを行っていきます。

【医師派遣】平成24年度 全国22施設 延べ日数4,826日

平成25年度 全国20施設 延べ日数4,492日

平成26年度 全国13施設 延べ日数2,469日

※その他、地域医療支援の一環で看護師、薬剤師、診療放射線技師、臨床検査技師、リハビリテーション職員等について、日本全国にわたり地域支援を行っています。



平成23年3月、東日本大震災で津波の被害を受けた宮城県牡鹿郡女川町にて救援活動



救援活動先遣隊として、当院のドクターカーも現地へ出動

# 病院機能評価の認定

患者のニーズを踏まえつつ、質の高い医療を効率的かつ効果的に提供していくためには病院機能の一層の充実、向上を図っていく必要があります。

そのためには、病院自らの努力が最も重要なことはもちろん、その努力をさらに効果的なものとしながら、問題点を把握し、これを改善するために、第三者機関である公益財団法人日本医療機能評価機構による「病院機能評価」の認定を継続受審し、改善を図っていきます。

## 認定証

Certificate of Accreditation



認定第JC1127-3号  
Accreditation Number

主たる機能：一般病院2  
Hospital Type 2

(主として、二次医療圏等の比較的広い地域において急性期医療を中心に地域医療を支える基幹的病院)  
機能種別版評価項目3rdG：Ver.1.1

病院名  
Hospital Name

公益社団法人地域医療振興協会  
横須賀市立うわまち病院  
Yokosuka General Hospital Uwamachi

殿

貴病院が日本医療機能評価機構の定める  
認定基準を達成していることを証する

This is to certify that the above hospital has demonstrated satisfactory  
compliance with the applicable JCQHC accreditation standards.

認定期間：2016年10月16日～2021年10月15日

交付日：2017年1月4日

初回認定：2006年10月16日



〈認定3回目〉



公益財団法人 日本医療機能評価機構  
Japan Council for Quality Health Care

代表理事 理事長 河北 博文  
Chairman of the Board Hirobumi Kawakita



評価機構の組織および評価項目は、  
国際認定を受けています。  
JQ is accredited by ISQua and  
complies to all international standards.

# 基幹型臨床研修指定病院

医療法の一部改正により、平成16年4月からは、「診療に従事する全ての医師は、医師としての人格をかん養し、プライマリ・ケア（初期医療）を中心に幅広く医師として必要な診療能力を効果的に身につけるために臨床研修を受けなければならない」ことになっています。

当院は国立横須賀病院からの経営移譲後も基幹型臨床研修病院に指定され、多くの研修医を受け入れて参りました。研修終了後も引き続き当院の医療に貢献している医師も多くいます。

## 【平成29年度現在】

初期臨床研修医 18名（1年目9名、2年目9名）

専攻医 12名





シミュレーションセンター

Yokosuka  
General Hospital  
UWAMACHI

*Sim. Hosp. Uwamachi  
simulation center*

CME: continuing medical education

**Yokosuka General Hospital Uwamachi**

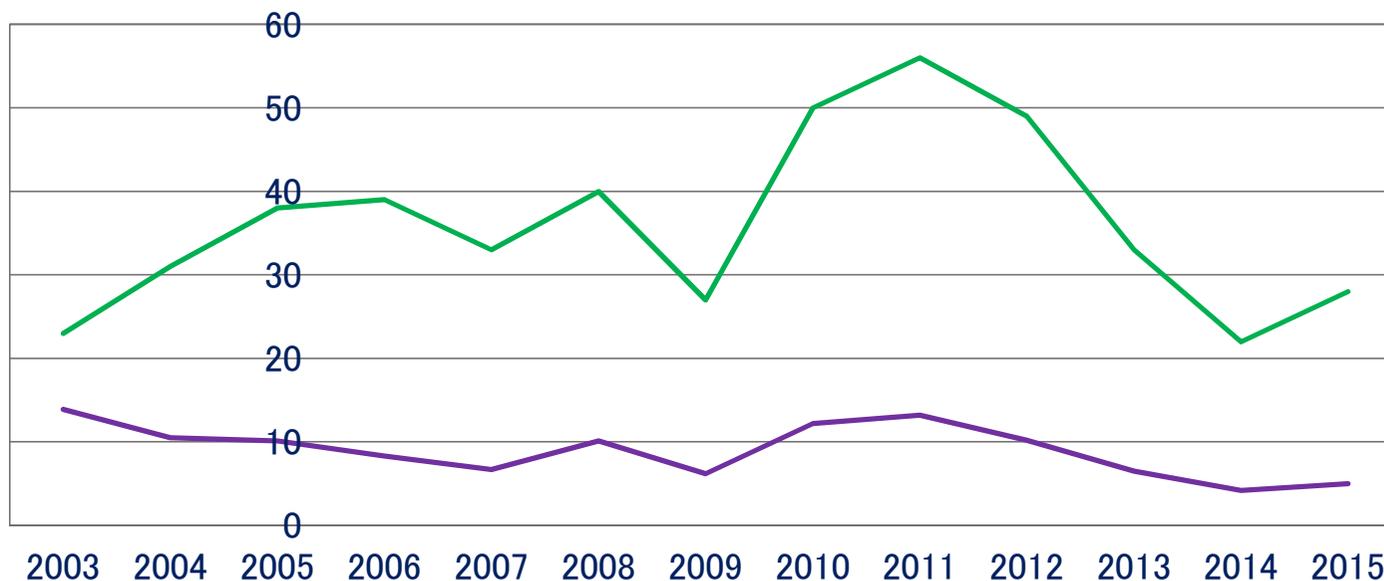
# 剖検の重視

	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010
解剖数	23	31	38	39	33	40	27	50
剖検率 %	13.9	10.5	10.1	8.3	6.7	10.1	6.2	12.2

2012年 剖検 57例、剖検率16%

# 多い剖検数・高い剖検率

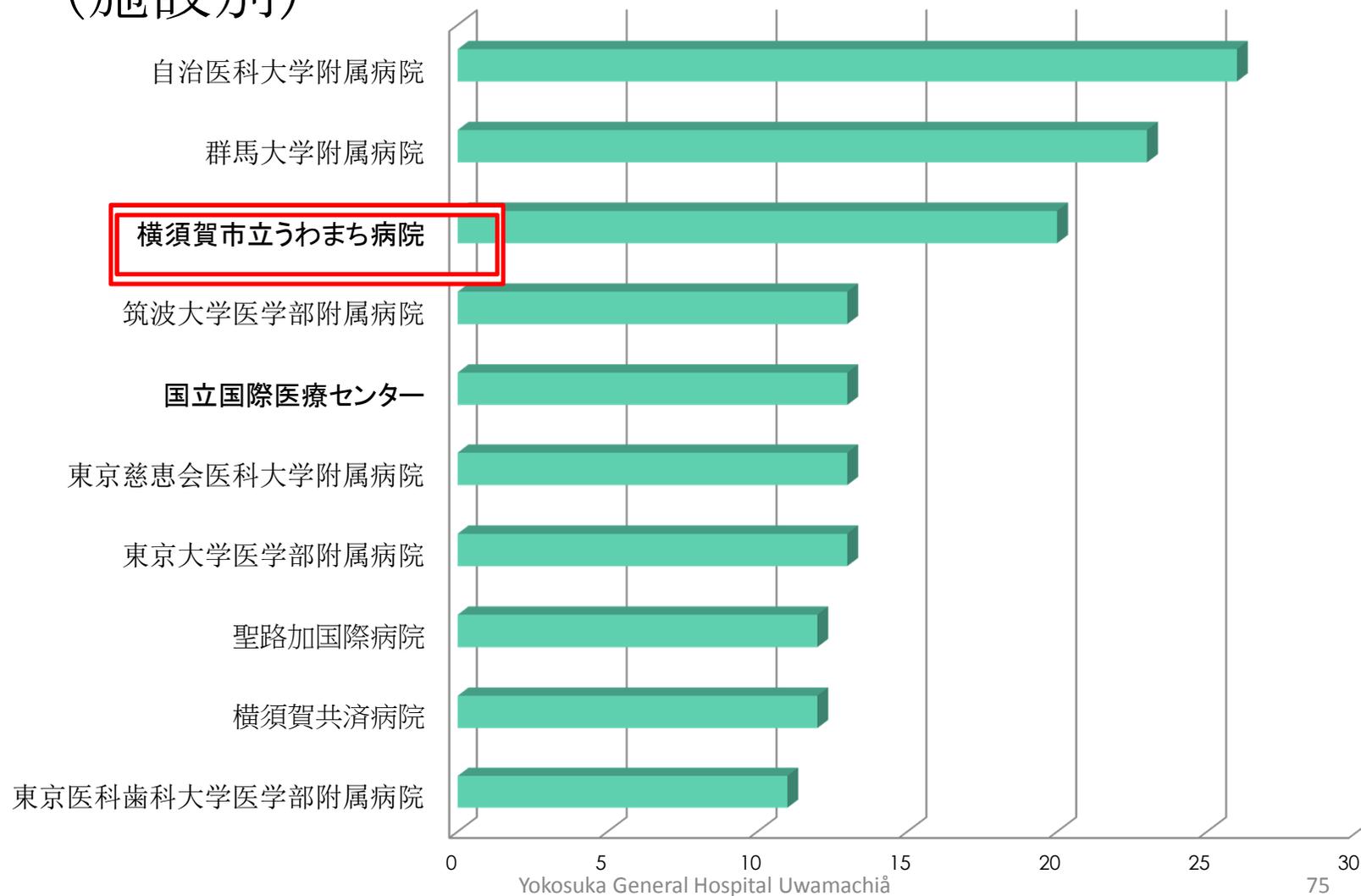
— 解剖数  
— 剖検率



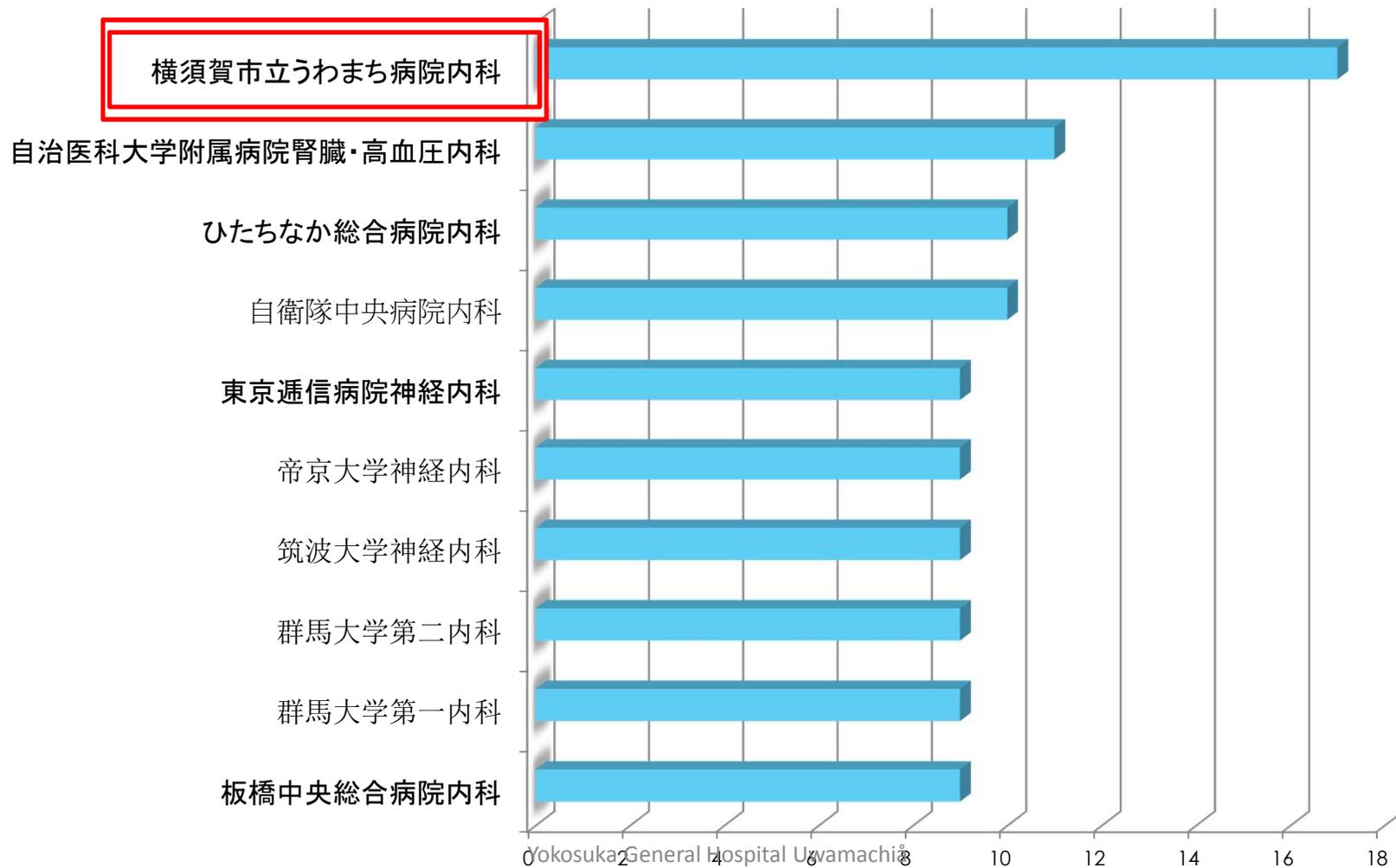
	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015
解剖数	23	31	38	39	33	40	27	50	56	49	33	22	28
剖検率	13.9	10.5	10.1	8.3	6.7	10.1	6.2	12.2	13.2	10.2	6.5	4.2	5.0

最新の平成18年度の人口動態統計保管統計表によればわが国の解剖率は31.022人/108万人=2.87%である。

# 平成24年度 日本内科学会関東地方会演題数 (施設別)



# 平成24年度 日本内科学会関東地方会演題数 (診療科別)



# 安全管理に基づく医療の提供

当院は開院以来インシデント・アクシデントリポートを積極的に収集し、これらから得られた情報により安全体制の改善を行い、アクシデントを減少させてきました。さらに平成23年4月には医療安全管理室を設置し、さらに徹底した情報収集を行い医療安全体制の確立に努めています。

今後も収集された情報を徹底的に分析し、改善を繰り返すことで医療安全に努めていきます。また、医療事故防止のための職員研修を強化していきます。加えて、インフォームドコンセント、セカンドオピニオンやチーム医療を推進し、医療の透明性を確保して行きます。

- 以下件数は同事例における関係者からの報告を全てカウントしたもの
- 薬剤処方時のオーダー修正件数を含む

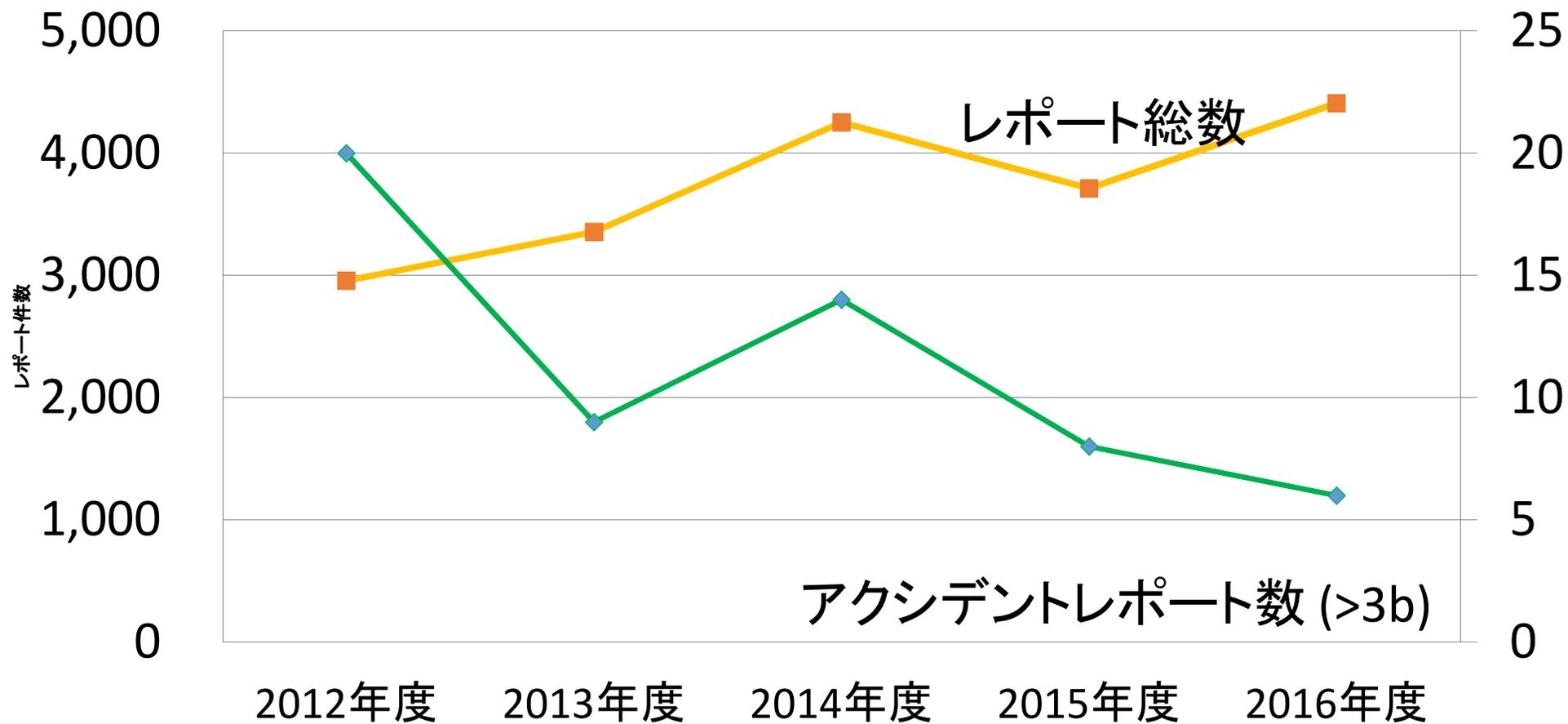
## 【インシデントカテゴリ別報告件数】

インシデントカテゴリ	2012年度		2013年度		2014年度		2015年度		2016年度	
	件数(件)	構成比(%)								
薬剤	1316	44.5%	1513	45.1%	2372	55.8%	2371	63.9%	2989	67.8%
輸血	18	0.6%	10	0.3%	17	0.4%	12	0.3%	8	0.2%
治療・処置	156	5.3%	154	4.6%	185	4.4%	176	4.7%	152	3.4%
医療機器等	44	1.5%	51	1.5%	105	2.5%	59	1.6%	70	1.6%
ドレーン・チューブ	312	10.6%	370	11.0%	459	10.8%	338	9.1%	367	8.3%
検査	161	5.4%	149	4.4%	166	3.9%	169	4.6%	170	3.9%
療養上の世話	719	24.3%	633	18.9%	607	14.3%	348	9.4%	404	9.2%
その他	229	7.7%	475	14.2%	340	8.0%	239	6.4%	248	5.6%
合計	2955	100.0%	3355	100.0%	4251	100.0%	3712	100.0%	4408	100.0%

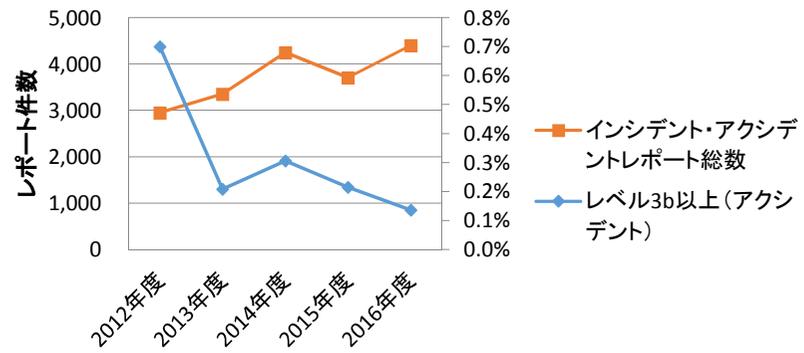
## 【レベル別報告件数】

レベル	2012年度		2013年度		2014年度		2015年度		2016年度	
	件数(件)	構成比(%)								
レベル0	1505	50.9%	1883	56.1%	2404	56.6%	2356	63.5%	2971	67.4%
レベル1	748	25.3%	911	27.2%	1017	23.9%	814	21.9%	800	18.1%
レベル2	628	21.3%	484	14.4%	729	17.1%	477	12.9%	558	12.7%
レベル3a	54	1.8%	68	2.0%	87	2.0%	57	1.5%	73	1.7%
レベル3b	18	0.6%	7	0.2%	13	0.3%	8	0.2%	6	0.1%
レベル4	2	0.1%	1	0.0%	1	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
レベル5	0	0.0%	1	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
合計	2955	100.0%	3355	100.0%	4251	100.0%	3712	100.0%	4408	100.0%

# インシデント・アクシデントレポート



## インシデント・アクシデント レポート



## 働きやすい職場への取組み

□短時間正職員制度の導入(医師、看護師)

□救急外来勤務の医師、看護師、医療技術職はシフト勤務

□プレミアムフライデーの提供

□24時間365日院内保育所整備※病児・病後児保育・学童保育まで

□研修医を含むすべての医師へipadを貸与

□職員支援室の設置 など



院内保育所  
学童保育  
病児保育  
病後児保育

福利厚生  
部活  
職員旅行  
(海外3コース・国内10コース)





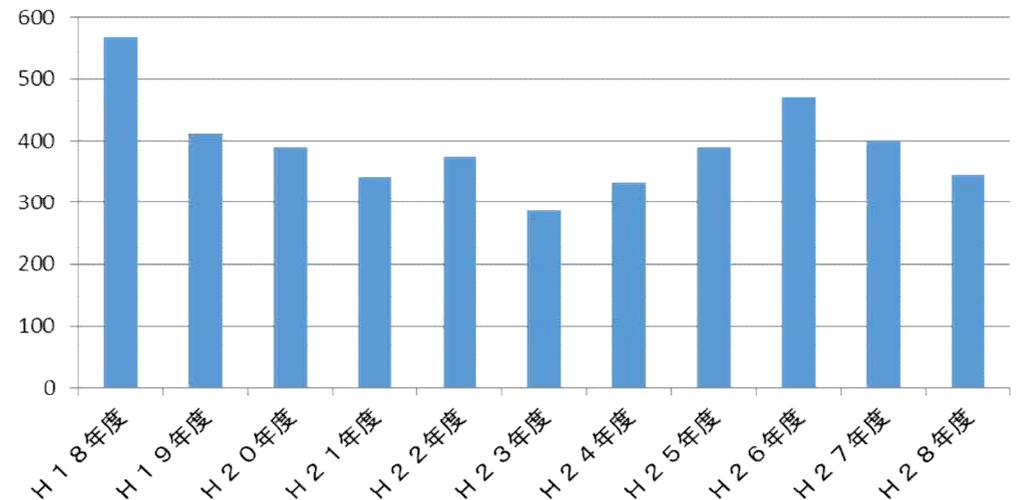
番号	クラブ名	人数
1	ゴルフ部	25
2	英会話	20
3	フットサル	23
4	バレーボール	40
5	バスケットボール	38
6	ボーリング	18
7	お花	10
8	バトミントン	48
9	ウインタースポーツ	36

# 患者支援室の設置

横須賀市立うわまち病院  
では、平成16年より患者  
支援室に専任スタッフ(ア  
ドボケーター2名)を配置  
し、患者・家族等の意見  
を聞いて、患者側に立っ  
て医療サービスの向上に  
貢献しています。



相談件数



No. 1

## 患者支援室の鈴木です

### Advocacy poster

患者さんの立場にたっご相談に応じます。

医療相談室で予約を取ってください。

- ◆ 病気に対して不安や心配をお持ちの方
- ◆ お医者さんや看護師さんに不満をお持ちの方
- ◆ 治療方法に疑問をお持ちの方
- ◆ 病院のシステムについてご意見をお持ちの方
- ★ Ask your question about treatment.

横須賀市立うわまち病院

電話 823-2630

内線 2270



もっと

# 患者支援室

No. 2

## 活用しましょう



Yokosuka  
General Hospital  
UWAMACHI

- 病気についての不安や心配をお持ちの方
- 医師や看護師についての不満をお持ちの方
- 治療方法についての疑問をお持ちの方
- 病院システムについてのご意見をお持ちの方
- Ask your question about treatment !

皆さん、こんにちは。  
患者支援室の鈴木です。

ここでは患者さんご自身の立場  
にたち、ご相談に応じております。

医療相談室にて、ご予約を承っ  
ておりますので、お気軽にご利用  
ください。

横須賀市立うわまち病院



# 院内感染対策の実施

- 院内に医師、看護師他各部門からの委員による院内感染対策委員会を設け、院内感染防止対策についてマニュアルを作成し、職員に徹底していきます。また、感染症疾患予防の一環として、職員予防接種を適宜実施していきます。
- 耐性菌対策としての抗生剤の適正使用、アウトブレイクに対する対策も徹底して行います。
- また、保健所や横浜市立大学の感染制御に関する専門家、地域の診療所や病院と感染症対策の情報を共有し、協力して地域全体の感染対策を行っていきます。

# 市立2病院の連携

- ①市立2病院の効率的な運営のために、市民病院とうわまち病院にてスタッフなどの交流や医療機器の補完を引き続き行っていきます。地域医療構想でさらなる機能分担と連携が進みます。
- ②引き続き両病院の間で小児科・脳神経外科・呼吸器科・泌尿器科・産婦人科・心臓血管外科・放射線科・腎臓内科・精神科等で診療機能を補完します。
- ③月に1回合同で市立病院運営会議を開催し、情報交換を行い、強力な連携を行っています。



# 地域貢献対策

横須賀市立うわまち病院を運営するにあたり、適正と判断した場合には、必要物資・工事・人材派遣等についてはできるだけ市内の事業者と取引をさせていただきます。

また、市内の中学校や高等学校から職場体験やボランティア実習の受け入れを行っています。さらに、市内のさまざまな行事に医療スタッフを派遣しています。



# 公正で公益的な管理運営等(1)

## ①関連する法令、条例等の理解・遵守について

前回の指定管理期間においても、医療法ならびに関係法令、市条例等を遵守し、適切に運営をしてきました。これからも横須賀市と協議しながら、医療法ならびに関係法令、市条例等を遵守して行きたいと思えます。

## ②個人情報の保護措置について

前回の指定管理期間においても、院内の個人情報取扱規程および情報公開規程に則って業務に対応してきました。個人情報の保護については今後も適切に対応し、また院内にて個人情報保護に関する研修会等を定期的に開催し、職員の教育に努めていきます。

## ③障害者の雇用への配慮と関係法令等の遵守について

現在も障害者雇用促進法および平成28年4月に施行された障害者差別解消法を遵守し、障害者雇用については、現在法定雇用率(10名)を上回る11人の障害者を雇用しています。引き続き、障害者の雇用、必要かつ合理的な配慮をしていきます。また、物品購入については、納入品の金額や品質等が適正と判断した場合には、授産施設等との取引をさせていただきます。

## ④環境保護への配慮について

横須賀市の環境保護対策に配慮し、省エネ、節水、効率的なエネルギー管理や廃棄物の減量等、環境保護対策に配慮した病院運営に努めてまいります。

# 公正で公益的な管理運営等(2)

## ⑤男女共同参画、女性雇用促進やワークライフバランスへの配慮について

医師・看護師に対する短時間正職員制度の導入、院内保育所の夜間保育の拡大、救急外来勤務は交代制勤務の導入、時間単位での有給休暇取得が可能な就業規程への変更、神奈川県子育て応援団への参加、院内での女性活躍推進プロジェクトの遂行(委員会を組織)等を実施しております。

## ⑥防災・防犯への対応について

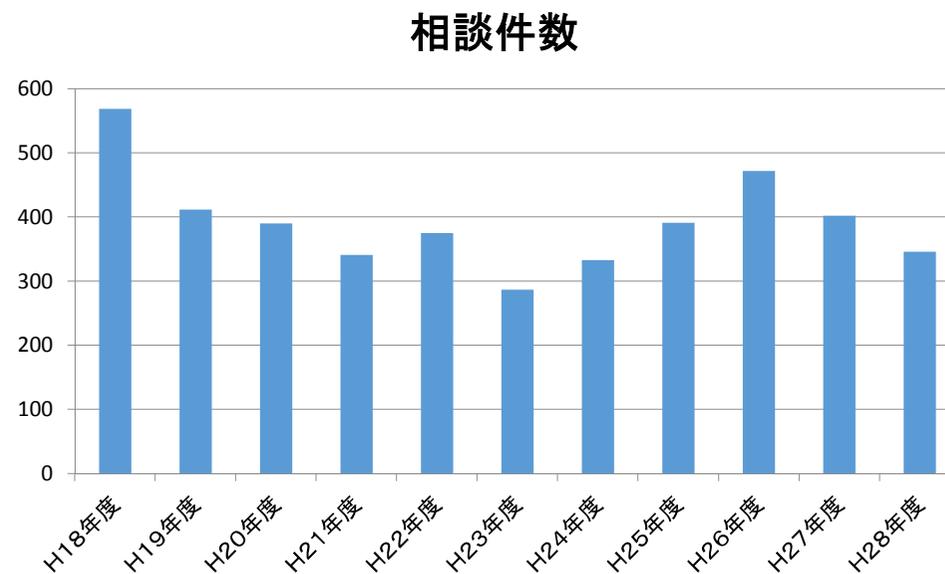
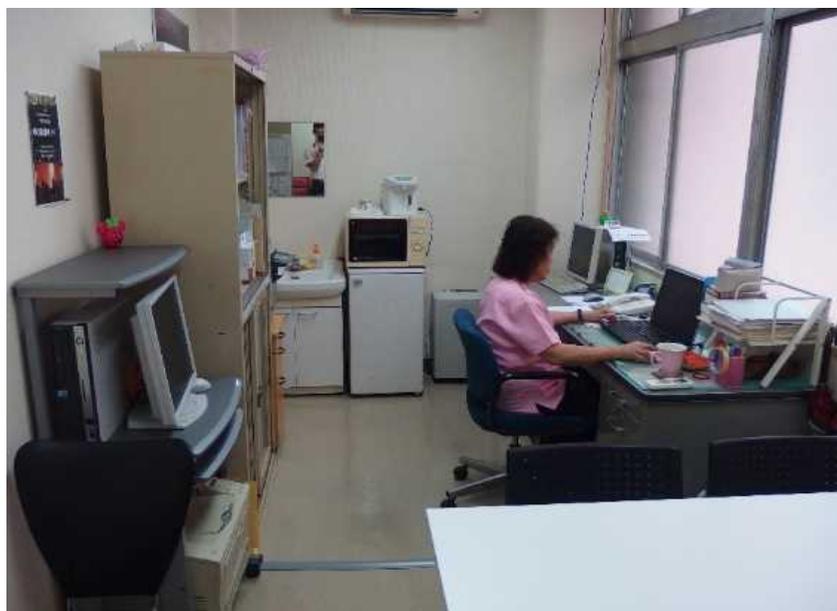
防災対策としては、年間行事として病院全体での総合防災訓練(横須賀市消防局との合同訓練)を年1回、各部署ごとの小規模消防訓練を毎月(年12回)行っています。また防犯対策として防犯カメラやセキュリティロックの設置のほか、保安管理室を設置し専従の職員(元神奈川県警OB)が巡視等を実施しております。加えて、職員全体での防犯対策研修会を定期的に開催しています。

## ⑦賠償時の対応手段について

前回の指定管理期間においても、医師、その他医療職、院内保育所、病院全体等の各種賠償責任保険に加入しており、また弁護士との顧問契約を締結するなど対応手段を講じており、今後も継続していきます。また、事案が発生した場合は横須賀市と相談・協議したうえで連携を図りつつ対応していきます。

# 利用者のサービス向上ならびに声を反映する施策について

横須賀市立うわまち病院では、平成16年より患者支援室に専任スタッフ(臨床心理士および看護師の2名)を配置し、患者等の意見を聞いて、医療サービスの向上に留意しています。



# 施設の改修(改築)について

横須賀市立うわまち病院に必要な施設整備ならびに機器整備については、公的な中核的医療施設として必要かつ、望まれるものを開設者である横須賀市と協議のうえ決定していきます。

また、施設・設備が老朽化し、狭小な施設のために恒常的な修繕が不可欠です。さらに本館病棟にはスプリンクラーが未設置であり、防災面で早急な対応が必要です。快適な療養環境の確保ならびに安全な中核的医療施設としての役割を担うためには、早急に、施設の建て替えと同時に大幅な大型医療機器の更新が必要です。



## 建替えが進む指定管理運営施設(国立移譲施設)



市立奈良病院(旧国立奈良病院) 25年度改築オープン



公立丹南病院(旧国立鯖江病院) H24春改築オープン



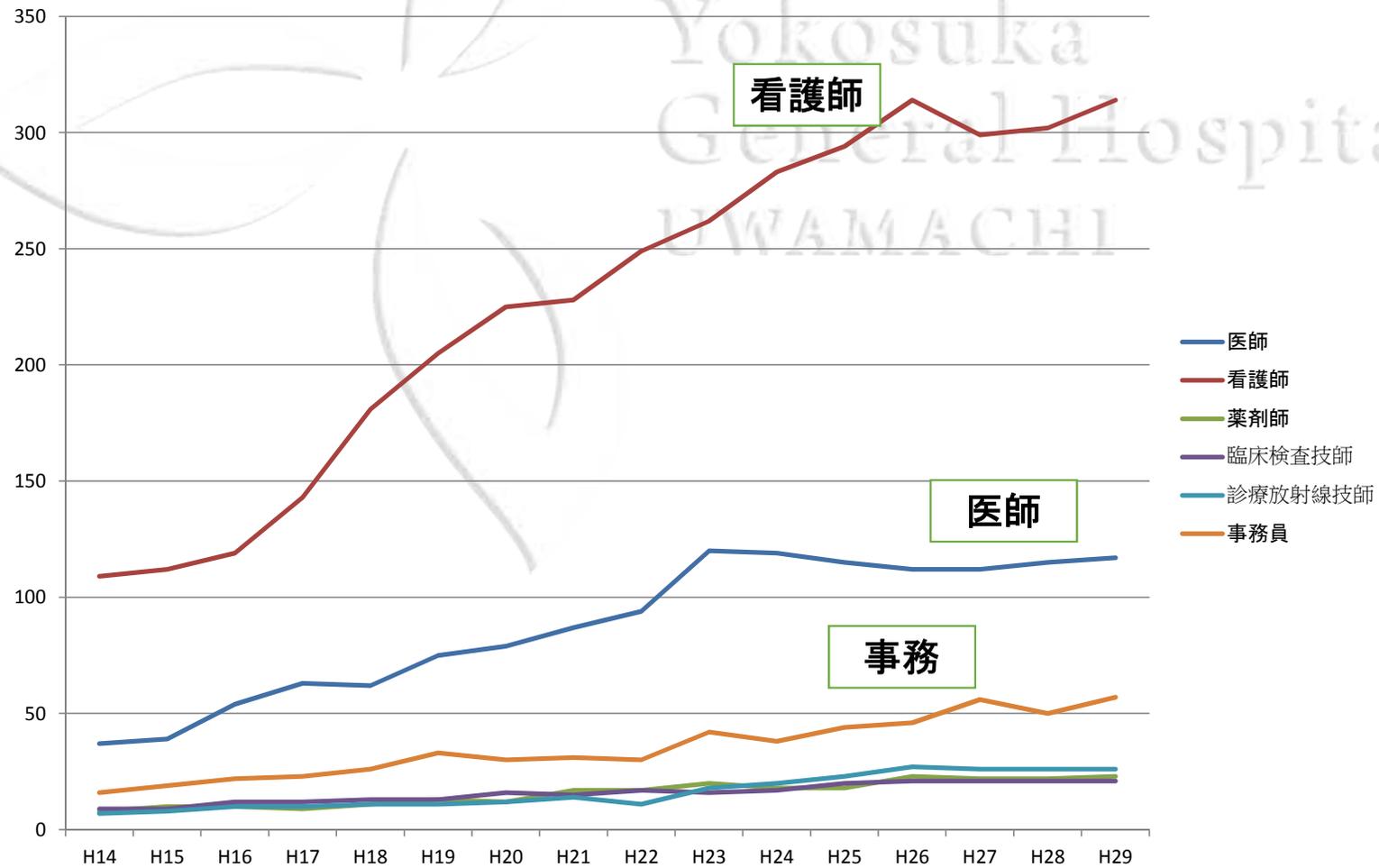
市立伊東市民病院(旧伊東温泉病院) H25春改築オープン



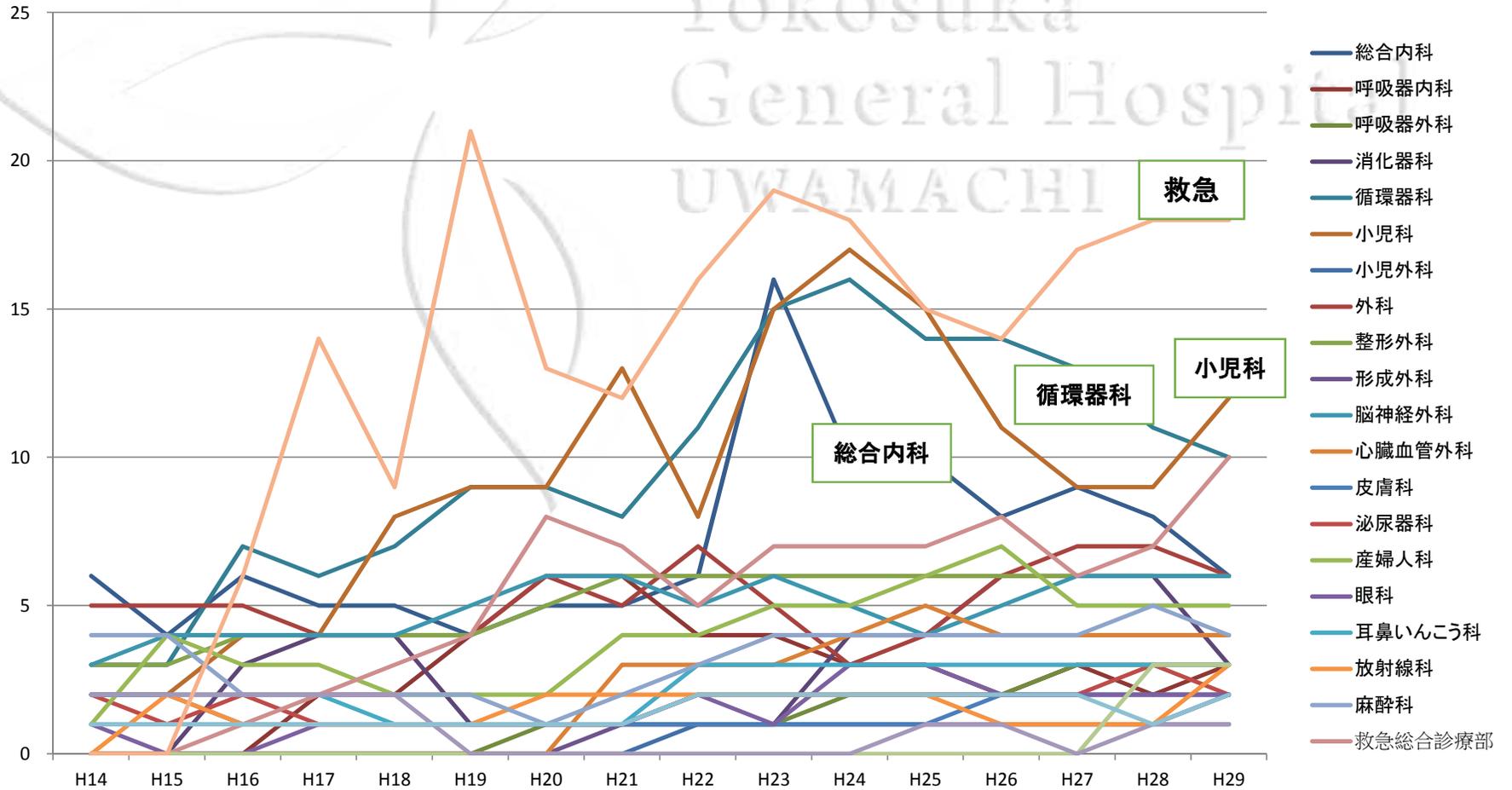
市立恵那病院(国立恵那病院) H28春改築オープン

# 効率的な運営 費用対効果

# 職種別常勤職員数推移



# 科別常勤医師数

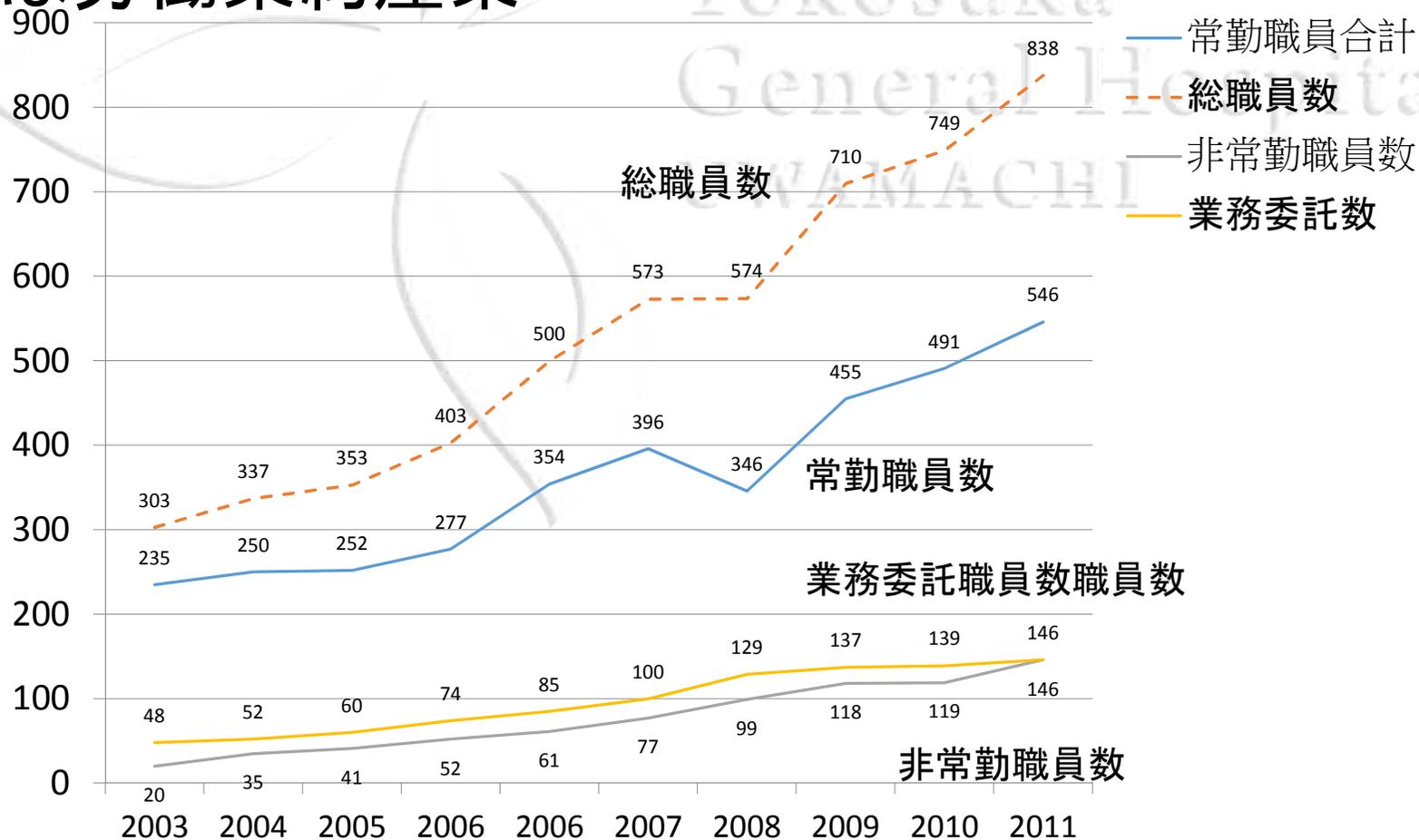


新しいデータ2017年



# 勤務形態別職員数推移

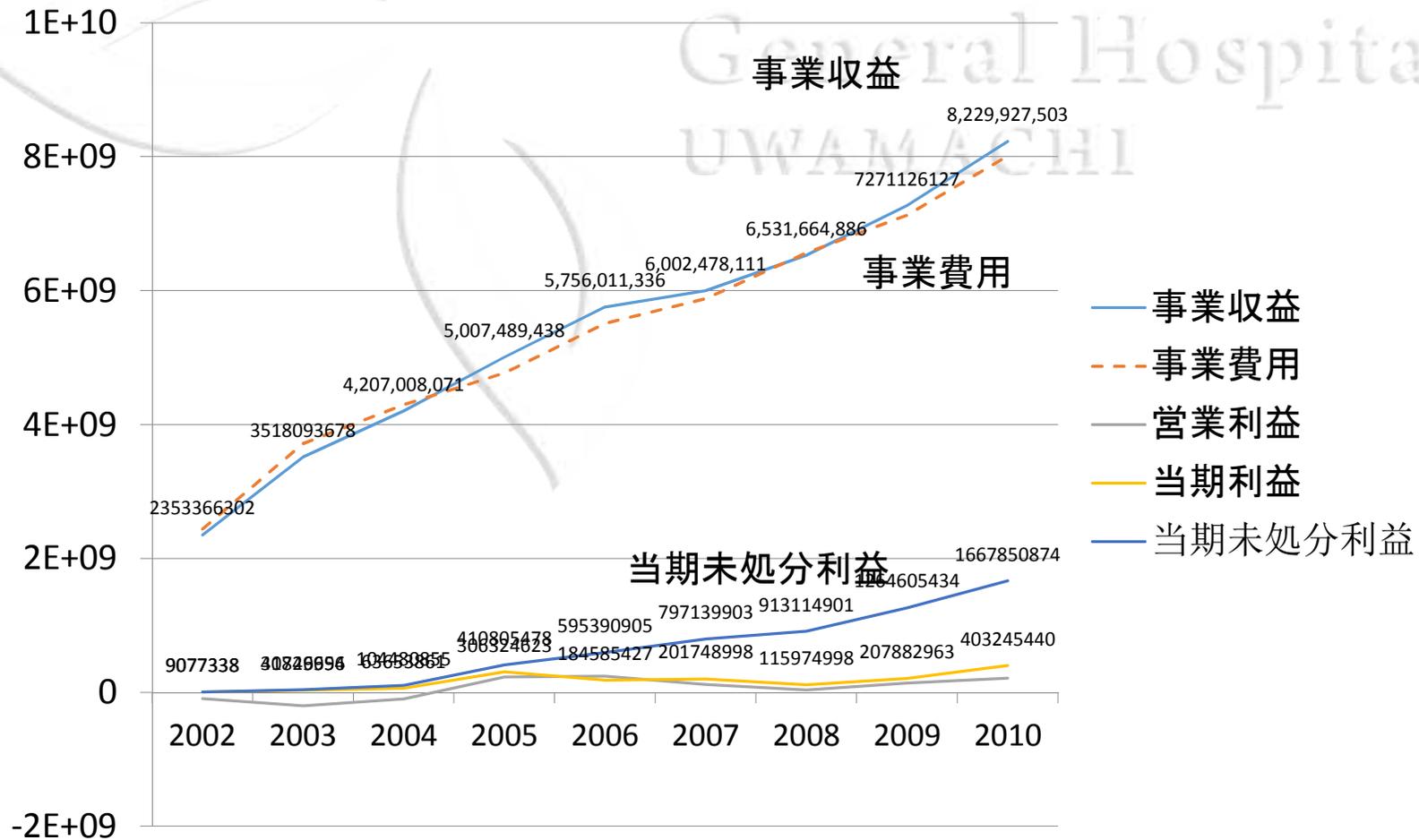
## 医療は労働集約産業



# 新しいデータ2017年

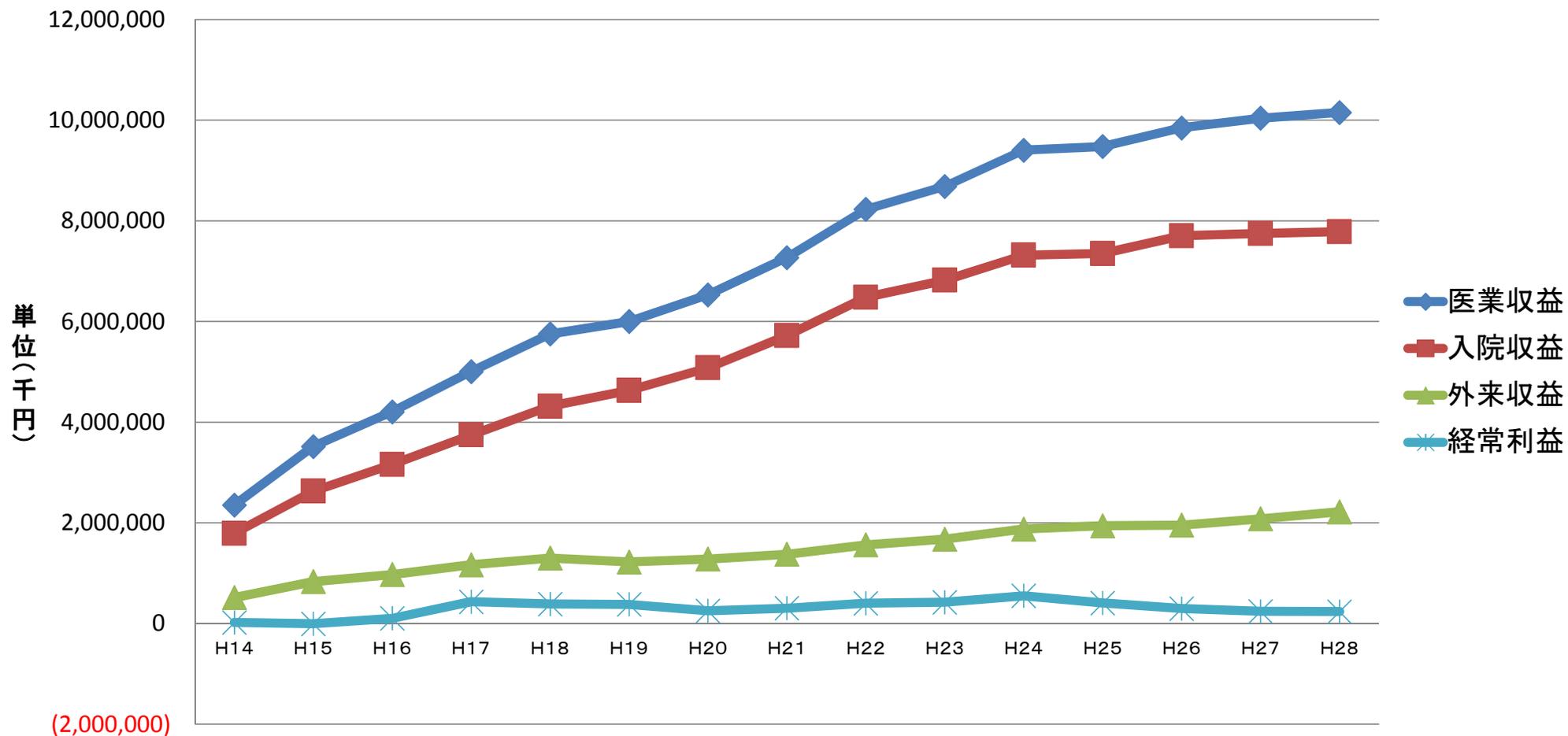


## P/L 横須賀市立うわまち病院



# 指定管理者の決算推移P/L(グラフ)

決算(全体)



# 指定管理者の決算推移 P/L

単位  
(千円)

	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
医業収益	2,353,366	3,518,094	4,207,008	5,007,489	5,756,011	6,002,478	6,531,664	7,271,125	8,229,928	8,686,600	9,404,891	9,477,365	9,847,799	9,958,774	10,155,903
入院収益	1,792,481	2,630,109	3,160,012	3,748,130	4,318,740	4,632,192	5,081,042	5,722,911	6,482,606	6,821,397	7,320,278	7,353,742	7,704,119	7,812,418	7,785,454
外来収益	517,750	832,835	975,378	1,167,938	1,301,015	1,225,173	1,280,946	1,378,727	1,563,510	1,677,215	1,877,323	1,942,477	1,956,855	1,999,613	2,220,699
その他	43,135	55,150	71,618	91,421	136,256	145,113	169,676	169,487	183,812	187,988	207,290	181,146	186,825	5,812,805	5,564,755
材料費	709,241	1,005,063	1,143,674	1,402,709	1,426,095	1,462,902	1,432,200	1,693,265	1,875,705	2,064,697	2,291,542	2,472,409	2,592,118	2,606,131	2,704,300
医薬品費	416,686	454,743	525,850	604,730	635,599	633,136	574,036	671,691	814,803	921,398	1,028,046	1,110,200	1,200,838	1,197,674	1,284,665
診療材料費	253,223	448,270	492,830	674,130	652,391	691,726	708,963	867,877	937,044	1,035,988	1,149,633	1,221,496	1,255,193	1,284,595	1,302,430
その他	39,332	102,050	124,994	123,849	138,105	138,040	149,201	153,697	123,858	107,311	113,863	140,713	136,087	123,862	117,205
給与費	1,293,412	2,015,206	2,278,859	2,462,818	2,948,565	3,247,111	3,678,904	3,966,488	4,489,866	4,748,797	4,966,353	5,016,770	5,100,396	5,140,161	5,220,305
経費	441,329	698,877	879,615	909,857	1,137,852	1,173,689	1,455,779	1,472,531	1,651,373	1,762,901	1,853,718	1,917,606	2,117,576	2,162,201	2,164,441
医業損益	-90,616	-201,052	-95,140	232,105	243,499	118,776	-35,219	138,841	212,984	110,205	293,278	70,580	37,709	50,281	66,857
事業外収益	112,976	196,834	203,748	210,780	155,356	269,923	297,171	294,857	454,966	515,123	574,571	542,784	483,409	399,977	305,679
事業外費用	10	0	5,145	8,135	8,912	7,662	8,868	127,177	264,324	201,659	316,322	205,258	222,621	242,422	134,376
経常利益	22,350	-4,218	103,463	434,750	389,943	381,037	253,084	306,521	403,626	423,669	551,527	408,106	298,497	207,836	238,160

# うわまち病院の収支の仕組み(H29予算)

市病院事業会計予算		指定管理者予算	
<収入>	<支出>	<収入>	<支出>
619,000千円	619,000千円	10,551,994千円	10,558,478千円
		入院収益 7,831,294千円	(給与費) (材料費) (経費等)
		外来収益2,160,289千円	10,464,478千円
		室料差額等138,483千円	指定管理者負担金94,000千円
		代診収入等35,650千円	
		指定管理料26,278千円	
		収支差額△6,484千円	
文書料26,278千円	指定管理料26,278千円		
	給与費44,091千円		
一般会計繰入金 382,000千円	減価償却費365,129千円		
	支払利息23,982千円		
	経費148,032千円		
その他116,722千円	その他11,488千円		
指定管理者負担金94,000千円			

# 市病院事業会計の決算推移P/L

(単位千円)

		H23	H24	H25	H26	H27
市病院事業会計	一般会計繰入金	401,000	390,000	393,000	393,000	390,000
	指定管理者負担金	143,000	122,000	107,725	136,000	134,000
	その他	66,117	67,567	60,858	139,665	126,514
	経常収益 計	610,117	579,567	561,583	668,665	650,514
	減価償却費	335,123	341,937	342,029	370,187	370,893
	支払利息	80,640	76,450	71,661	68,156	62,536
	その他	95,998	137,957	126,763	195,456	191,330
	経常費用 計	511,761	556,344	540,453	633,799	624,759
	経常損益	98,356	23,223	21,130	34,866	25,755

# 指定管理者B/S (H28決算)

(単位 千円)

資産の部		負債の部	
固定資産	1,564,821	固定負債	535,685
土地	195,288	長期借入金	74,250
建物、医療機器等	1,369,533	その他	461,435
流動資産	3,546,016	流動負債	653,186
現金預金	1,613,776	短期借入金	11,000
その他	1,932,240	その他	642,186
		負債合計	1,188,871
		資本金	5,753
		<b>剰余金</b>	<b>3,916,213</b>
		未処分利益剰余金	3,437,999
		当期利益	234,944
		資本合計	3,921,966
資産合計	5,110,837	負債・資本合計	5,110,837

# 市病院事業会計B/S (H27決算)

(単位 千円)

資産の部		負債の部	
固定資産	7,089,852	固定負債	3,681,446
土地	2,390,945	企業債	3,656,253
建物、医療機器等	4,698,907	その他	25,193
流動資産	2,913,423	流動負債	447,257
現金預金	2,642,316	企業債	424,331
その他	271,107	その他	22,926
		繰延収益	768,627
		負債合計	4,897,330
		資本金	1,958,600
		剰余金	3,147,345
		未処分利益剰余金	1,106,765
		受贈財産評価額	2,040,580
		資本合計	5,105,945
資産合計	10,003,275	負債・資本合計	10,003,275

# 県内公立病院収支の状況(H27)

※うわまち、市民病院は、市病院事業会計と指定管理者会計との合算数値

(単位 千円)

	うわまち病院	横須賀市民病院	藤沢市民病院	茅ヶ崎市立病院	大和市立病院	厚木市立病院	平塚市民病院	小田原市立病院	三浦市立病院
許可病床数	417床	482床	536床	401床	403床	356床	416床	417床	136床
入院収益	7,751,152	4,712,349	10,739,604	5,959,219	6,224,426	5,118,077	7,579,997	7,509,805	1,448,394
外来収益	2,082,316	2,019,416	4,781,840	2,767,468	3,195,165	2,094,934	2,779,928	2,928,968	692,947
一般会計繰入金	390,000	643,000	1,530,085	1,017,678	1,022,749	1,095,368	1,030,176	1,300,000	248,486
その他	687,323	424,717	678,539	771,530	1,106,458	416,928	559,616	242,085	213,320
経常収益 計	10,910,792	7,799,482	17,730,068	10,515,895	11,548,798	8,725,307	11,949,717	11,980,858	2,603,147
給与費	5,260,345	3,957,193	8,501,628	5,526,045	6,024,925	5,108,553	6,445,908	6,514,616	1,479,480
材料費	2,598,764	1,901,372	4,159,887	2,018,412	2,493,520	1,752,282	2,397,962	2,773,855	288,424
※経費	1,677,566	1,424,662	2,954,847	1,713,322	1,525,396	1,694,351	1,978,693	1,935,532	426,242
※指定管理者負担金	134,000	0	0	0	0	0	0	0	0
減価償却費	670,774	600,029	882,616	765,159	504,686	995,706	686,764	594,042	172,337
その他	300,318	120,686	853,696	589,144	601,183	452,175	459,092	460,064	163,468
経常費用 計	10,641,767	8,003,942	17,352,674	10,612,082	11,149,710	10,003,067	11,968,419	12,278,109	2,529,951
経常損益	269,025	△ 204,460	377,394	△ 96,187	399,088	△ 1,277,760	△ 18,702	△ 297,251	73,196

※うわまち病院、横須賀市立市民病院の経費には、法人経費分を含む

※指定管理者負担金は、市の病院事業会計の収支差額(予算ベース)について、毎年度1億3千万円程度、指定管理者から市に対して支払っているもの

# 一般会計繰入金の比較(H27年度)

(単位 千円)

	全国平均 (2013)	うわまち 病院	横須賀市 民病院	藤沢市民 病院	茅ヶ崎市 立病院	大和市立 病院	厚木市立 病院	平塚市民 病院	小田原市 立病院	三浦市立 病院
許可病床数	231.5床	417床	482床	536床	401床	403床	356床	416床	417床	136床
一般会計繰 入金	618,000	390,000	643,000	1,530,085	1,017,678	1,022,749	1,095,368	1,030,176	1,300,000	248,486
(1床あたり 平均)	2,670	935	1,334	2,855	2,538	2,538	3,077	2,476	3,118	1,827
対全国 平均比	100%	35%	50%	107%	95%	95%	115%	93%	117%	68%

出展:【第10回】公立病院改革の経済・財政効果についてー「地方公営企業年鑑」による個票データを用いた分析ー(平成28年8月16日)等

# 収支計画書(H30～H32年度)

## 【収入の部】

区分	平成30年度	平成31年度	平成32年度
医業収益	10,986,449	11,039,118	11,067,999
入院診療収益	8,728,675	8,780,573	8,808,678
室料差額収益	110,084	110,855	111,631
外来診療収益	2,147,690	2,147,690	2,147,690
その他医業収益	52,773	52,773	52,773
保健予防活動収益	55,790	55,790	55,790
その他の医業収益	25,164	25,164	25,164
保険査定減	-28,181	-28,181	-28,181
医業外収益	363,048	363,048	363,048
収入合計①	11,402,270	11,454,939	11,483,820

## 【支出の部】

区分	平成30年度	平成31年度	平成32年度
医業費用	11,045,874	11,109,488	11,066,617
給与費	5,765,495	5,823,150	5,881,382
材料費	3,090,982	3,105,729	3,113,816
委託費	788,839	788,839	788,839
設備関係費	666,226	656,384	546,617
経費	734,332	735,386	735,963
医業外費用	162,077	157,918	185,184
支出計②	11,207,951	11,267,406	11,251,801
収支差(①-②)	194,319	187,533	232,019

## 【患者数】

区分	平成30年度	平成31年度	平成32年度
1日平均入院患者数 (一般床)	231.7	233.7	234.7
1日平均入院患者数 (回復・療養)	78.0	78.0	78.0
1日平均外来患者数	500	500	500

## 【診療単価】

区分	平成30年度	平成31年度	平成32年度
入院単価(一般床)	93,185	93,185	93,185
入院単価(回復・療養)	30,720	30,720	30,720
外来単価	14,660	14,660	14,660

# 職員配置計画(H30～H32年度)

職 種	平成29年度（現在）		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤
医師	101名	40名	101名	40名	101名	40名	101名	40名
研修医	18名	0名	18名	0名	18名	0名	18名	0名
看護師・准看護師	288名	45名	288名	45名	288名	45名	288名	45名
専門看護師	1名	0名	1名	0名	1名	0名	1名	0名
認定看護師	11名	0名	11名	0名	12名	0名	12名	0名
助産師	20名	5名	20名	5名	20名	5名	20名	5名
薬剤師	23名	5名	23名	5名	23名	5名	23名	5名
臨床検査技師	21名	0名	21名	0名	21名	0名	21名	0名
診療放射線技師	23名	0名	23名	0名	23名	0名	23名	0名
理学療法士	22名	0名	24名	0名	24名	0名	24名	0名
作業療法士	7名	0名	8名	0名	8名	0名	8名	0名
言語聴覚士	6名	0名	7名	0名	7名	0名	7名	0名
視能訓練士	2名	0名	2名	0名	2名	0名	2名	0名
管理栄養士	6名	0名	6名	0名	6名	0名	6名	0名
臨床工学技士	11名	0名	11名	0名	11名	0名	11名	0名
ソーシャルワーカー	7名	0名	7名	0名	7名	0名	7名	0名
事務※	49名	10名	49名	10名	49名	10名	49名	10名
保育士	13名	8名	13名	8名	13名	8名	13名	8名
看護助手	42名	20名	42名	20名	42名	20名	42名	20名
計	671名	133名	675名	133名	676名	133名	676名	133名

【障害者雇用について】法定雇用率(10名)を上回る雇用を維持し、平成29年度時点での11名(事務職10名、看護師1名)の雇用実績があり、今後も継続していきます。

# 収入面

- 1) 診療報酬改定等の医療情勢を考慮しながらサービス向上と収入確保
- 2) DPC参加病院を維持し、より高いDPC係数を取得
- 3) MRI,CT・血管造影装置等の高度診断機能の共同利用
- 4) 紹介患者の増加を推進による増収対策
- 5) 救急患者の受け入れ拡充
- 6) 7対1入院基本料を維持
- 7) 回復期リハビリテーション病棟と療養病棟における、病床利用率の向上
- 7) クリニカルパスの推進による入院期間の短縮・適正化
- 8) 地域医師会との診療連携により、地域医療支援病院の資格を維持
- 9) 適正で漏れのない診療報酬請求を徹底するための必要な知識習得



# 支出面

- 1) 院外処方による薬剤在庫の負担軽減
- 2) 共同購入(シェアドサービス)による購入額の削減
- 3) 医薬品のジェネリック品を使用による患者の費用負担の軽減と院内のコスト削減
- 4) 委託業務の業務内容・業務量を毎年精査し、業務範囲の適正・拡大等の見直し
- 5) TQM 活動・QC活動の積極的推進による人的資源、経費の合理的活用
- 6) BSC活動による職員の日標意識、経営参画意識を高め、病院の経営改善に繋げる。
- 7) 院内物流システム(SPD)を定期的に見直し在庫管理の効率化・購入額の抑制



院内在庫の適正化



院内活動の他、QCサークル全国大会にも出場し感動賞を受賞

# 平成27年度自治体立優良病院総務大臣表彰受賞 平成26年度自治体立優良病院自治体病院協議会会長表彰受賞



横須賀市の公的な施設であることを念頭に置き、病院の基本理念に基づき、公平、的確な運営を行います。提供する医療は市民に満足と安心を与えることができるように努力し、経営は効率的で合理的で、医療費を無駄にせず、経済的に持続可能な運営を心がけていきます。